

重点施策推進事業評価

(旧：事務事業評価)

令和 7 年度事業

(2025 年度事業)



令和 8 年 9 月

湖西市

— 目 次 —

I 重点施策推進事業評価の概要

- 1 目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 2 評価対象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- 3 評価方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- 4 評価項目と評価基準・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

II 重点施策推進事業評価の結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

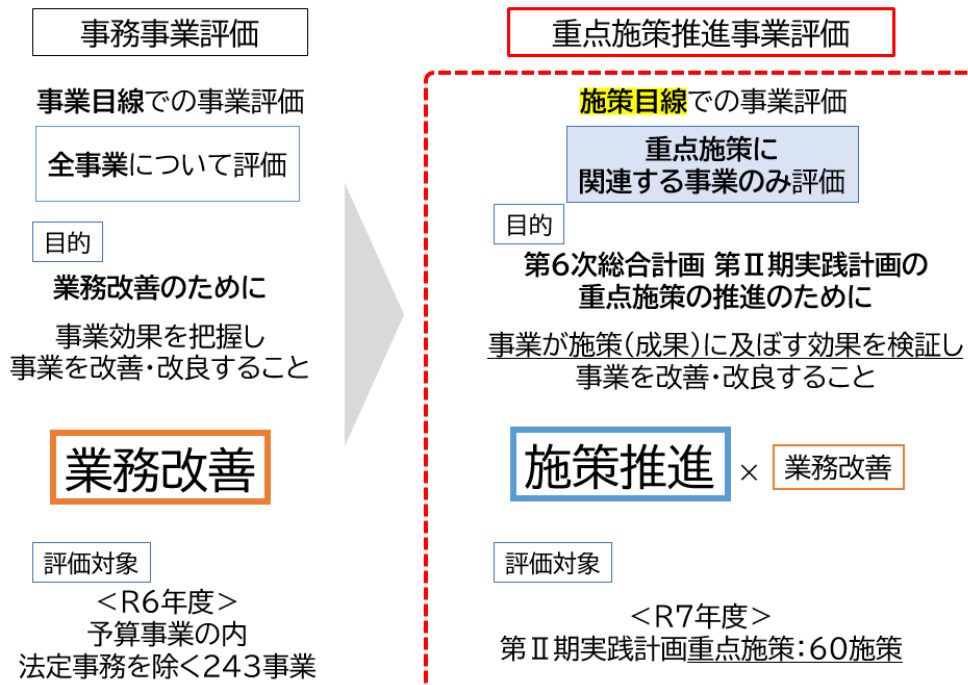
III 個票一覧

- 個票の説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
- 個票 重点施策：60施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

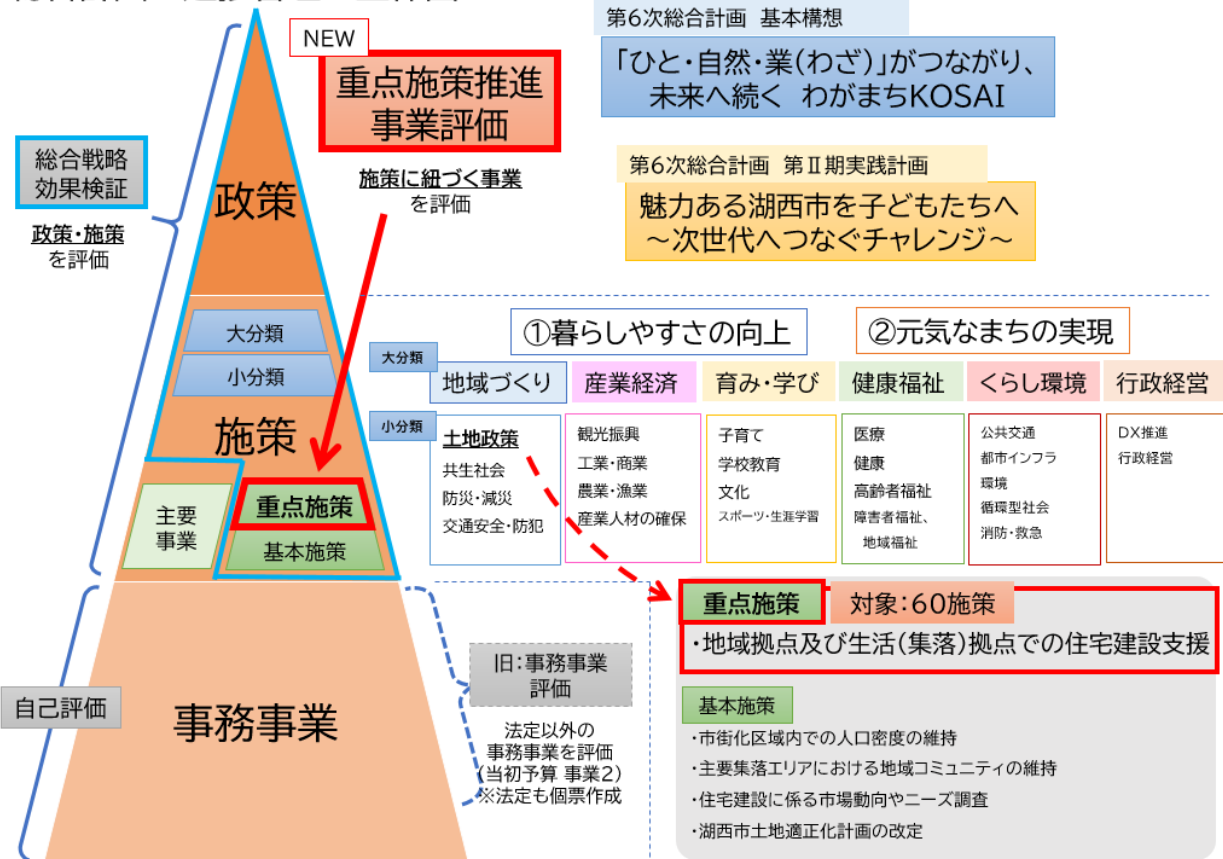
I 重点施策推進事業評価の概要

1 目的

第6次湖西市総合計画 第Ⅱ期実践計画に位置付ける重点施策について、各事業の実績や今後の方向性を評価し、事業が施策の推進にどのように寄与しているかを検証することで、施策の着実な推進および今後の事業見直しにつなげることを目的とする



総合計画の進捗管理の全体図



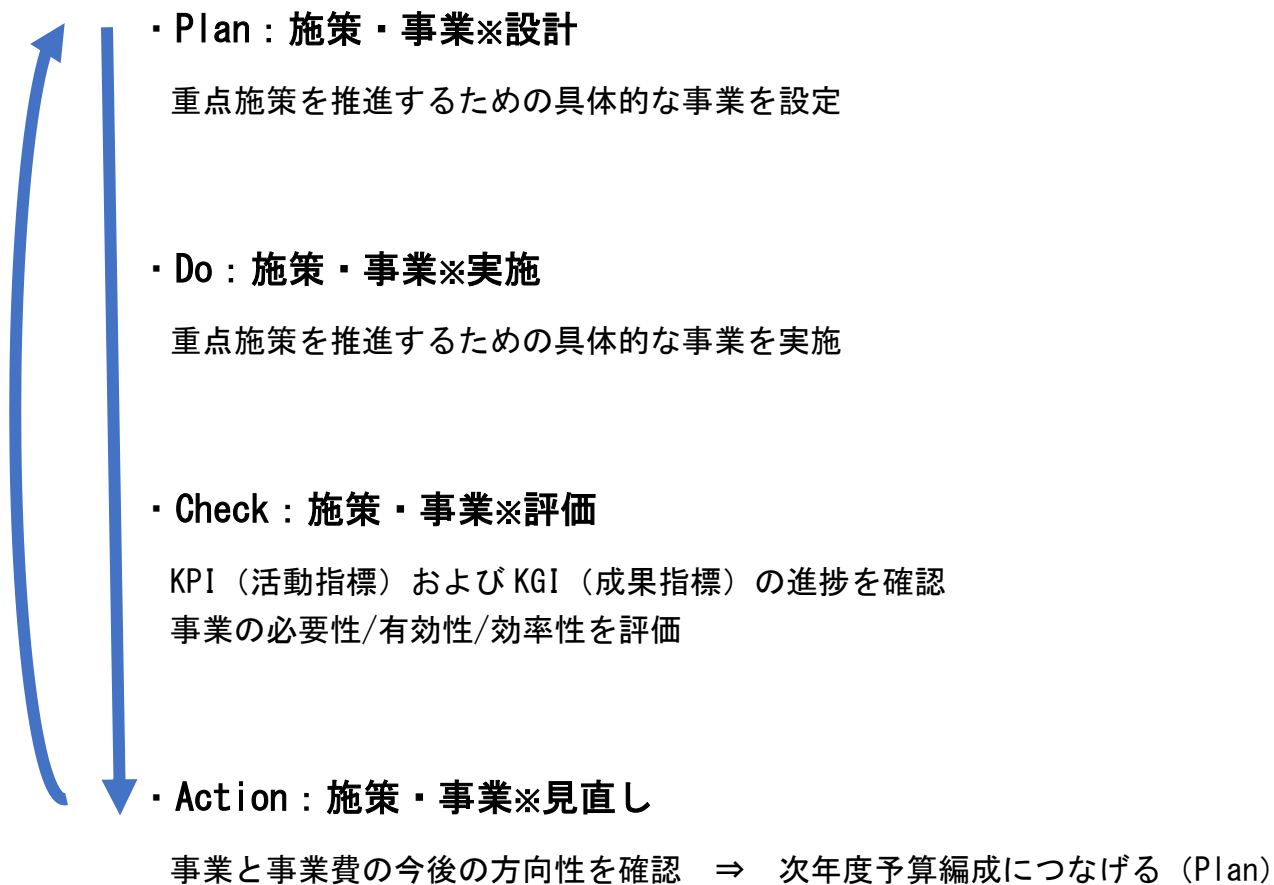
2 評価対象

第6次湖西市総合計画 第Ⅱ期実践計画に位置付ける重点施策 60 施策

大分類	小分類（個別施策）	重点施策	目標
地域づくり	1 土地政策	1 集約・連携型まちづくりによる都市拠点、地域拠点及び主要集落エリア（生活拠点）での住宅建設支援	暮らしやすさの向上
		2 地縁による団体のまちづくり活動の支援	元気なまちの実現
	2 共生社会	3 市民による活力あるまちづくり活動の支援	元気なまちの実現
		4 働く場におけるジェンダー平等の実現	暮らしやすさの向上
		5 外国人市民への日本語教育の推進	元気なまちの実現
	3 防災・減災	6 地域の防災力向上	暮らしやすさの向上
		7 災害時における医療救護体制の強化	暮らしやすさの向上
	4 交通安全・防犯	8 交通安全運動の実施	暮らしやすさの向上
		9 青色防犯バトロール	暮らしやすさの向上
産業経済	5 観光振興	10 郷土愛を育む観光地域づくり	元気なまちの実現
		11 地域ブランドによるプロモーション	元気なまちの実現
		12 体験観光の強化	元気なまちの実現
	6 工業・商業	13 中小企業の経営力向上支援	元気なまちの実現
		14 スモールビジネスの創業支援によるにぎわい創出	元気なまちの実現
		15 企業立地の促進	元気なまちの実現
	7 農業・漁業	16 効率的で持続可能な農業の実現	元気なまちの実現
		17 浜名湖の水産資源の回復と安定した供給	元気なまちの実現
	8 産業人材の確保	18 人材確保支援	元気なまちの実現
		19 キャリア教育	元気なまちの実現
		20 多数な働き方の支援	元気なまちの実現
育み・学び	9 子育て	21 こどもの発達に関する相談支援の充実	暮らしやすさの向上
		22 放課後児童クラブの待機児童対策	暮らしやすさの向上
		23 幼児期のこどもの育ちに係る教育・保育支援サービスの充実	暮らしやすさの向上
	10 学校教育	24 小中学校体育館の空調整備	暮らしやすさの向上
		25 GIGAスクール構想の推進	暮らしやすさの向上
		26 不登校児童生徒に対する支援	暮らしやすさの向上
		27 部活動地域展開等の推進	暮らしやすさの向上
	11 文化	28 文化芸術の発表と鑑賞の機会の提供	元気なまちの実現
		29 文化財の保存と活用	元気なまちの実現
	12 スポーツ・生涯学習	30 多様化するライフステージに応じたスポーツ活動の推進	元気なまちの実現
		31 豊かなスポーツライフを支える環境づくり	元気なまちの実現
		32 多世代が利用できる講座の企画	元気なまちの実現
		33 図書館利用の普及とPR	暮らしやすさの向上
健康福祉	13 医療	34 高齢化に伴う医療需要に対する湖西病院の診療体制強化	暮らしやすさの向上
		35 産前産後ケア体制維持	暮らしやすさの向上
	14 健康	36 若い年齢層への健康づくりの推進	暮らしやすさの向上
		37 生活習慣病重症化予防の取組み強化	暮らしやすさの向上
	15 高齢者福祉	38 介護予防の推進	暮らしやすさの向上
		39 認知症施策の充実	暮らしやすさの向上
	16 障害者福祉・地域福祉	40 障害者一人ひとりの特性に応じた就労の促進	暮らしやすさの向上
		41 障害者の雇用の確保と拡大	暮らしやすさの向上
		42 相談支援・情報提供体制の整備	暮らしやすさの向上
		43 包括的相談支援体制の整備	暮らしやすさの向上
		44 利便性、効率性の高い公共交通ネットワークの形成（拡充）	暮らしやすさの向上
くらし環境	17 公共交通	45 上下水道施設の最適化・強靱化	暮らしやすさの向上
		46 公共下水道の整備	暮らしやすさの向上
		47 市街地における都市計画道路未整備区間の整備	元気なまちの実現
		48 物流の効率化を図る幹線道路の整備推進	元気なまちの実現
	18 都市インフラ	49 臭気対策	暮らしやすさの向上
		50 花と緑のまちづくり推進	暮らしやすさの向上
	19 環境	51 生ごみ削減に向けた制度未利用者への周知	暮らしやすさの向上
		52 中小企業等へのゼロカーボン化支援	元気なまちの実現
		53 市民（家庭）のゼロカーボン化支援	元気なまちの実現
		54 行政におけるゼロカーボン化の推進	元気なまちの実現
	20 循環型社会	55 救急車の適正利用	暮らしやすさの向上
		56 住宅用火災警報器設置維持管理に関する広報	暮らしやすさの向上
		57 情報化（DX）施策の総合的な企画、調整及び推進	元気なまちの実現
行政経営	22 DX推進	58 職員の情報システム利用技術向上、生成AI・RPA等を活用した業務効率化推進	元気なまちの実現
		59 継続的で安定的な財政基盤の確立	元気なまちの実現
	23 行政経営	60 公共施設再配置個別計画の進捗管理	元気なまちの実現

3 評価方法

PDCA サイクルに基づき実施する。



※「事業」は、「重点施策のために行う具体的な事業内容」を指す

4 評価項目と評価基準

次の評価基準のとおり、評価を行います。

Check（施策・事業評価）評価基準

評価項目	評価の視点	評価	評価基準
＜必要性＞ 行政関与の 妥当性	・市が関与しなければならない事業であるか ・民間事業者や NPO 等の事業と重複や類似はないか ・国や県の事業と重複や類似はないか ・市が関与することによる成果（メリット）があるか	A	市が関与する必要性が高い
		B	市が関与する必要性が 低くなりつつある
		C	市が関与する必要性が 低い/ない
＜有効性＞ 成果（KGI） に対する 活動（KPI） の妥当性	・ KPI（活動指標）が KGI（成果指標）達成度の向上に寄与しているか （例） ○ KPI 達成度が向上/維持しており、KGI 達成度が向上している × KPI 達成度が向上しているが、KGI 達成度が向上していない ・ <u>KPI の方向性が正しい場合</u> ⇒活動の方向性の正否の確認を踏まえて KPI の目標値を見直し ・ <u>KPI の方向性が誤っている場合</u> ⇒KGI 達成度の向上につながる新たな KPI を再設定（指標の見直し） × KPI 達成度が低下しているが、KGI 達成度が向上している ⇒別の活動が成果に寄与しているため、新たな KPI を再設定（指標の見直し）	A	KPI 進捗が KGI 進捗に 寄与している
		B	KPI 進捗が KGI 進捗に 寄与していない可能性がある
		C	KPI 進捗が KGI 進捗に 寄与していない ⇒KPI の見直し
＜効率性＞ 事業費削減 の余地	・ 成果を下げず、コスト削減できる余地はないか ・ 適正な受益者負担を求めているか ・ 他の手法とのコスト比較がされているか ・ 実施体制に改善の余地はないか	A	事業費削減の余地なし （事業費適正）
		B	事業費削減の余地が 一部ある ⇒事業費削減手法を検討
		C	事業費削減の余地が 多くある ⇒次年度予算の削減検討

Action（施策・事業見直し）

評価項目	評価の視点	評価
事業の 方向性	・ KPI/KGIの達成状況や必要性/有効性/効率性の評価（Check）に基づいて、事業の課題や問題点を踏まえた事業の方向性（予算額（金）以外のリソース（ヒト・モノ・情報・時間）や事業のウェイトを含む事業自体の方向性） ※今回の評価では、令和7年度事業の実績に対する令和9年度の方向性を記入しています。	↗拡大
		→維持
		↘縮小
		×廃止
		-休止
事業費 （予算） の方向性	・ 令和9年度予算の方向性 ※繰越額は除く	↗拡大
		→維持
		↘縮小
		×廃止
		-休止

Ⅱ 重点施策推進事業評価の結果

(1) 評価対象

第6次湖西市総合計画 第Ⅱ期実践計画における重点施策 **60 施策**

(2) Check（事業評価）

＜必要性＞行政関与の妥当性（行政が行う必要があるか）

評価	内容	施策数	割合
A	市が関与する必要性が高い	59	98.3%
B	市が関与する必要性が低くなりつつある	1	1.7%
C	市が関与する必要性が低い・ない	0	0.0%
合計	－	60	100

＜有効性＞成果（KGI）に対する活動（KPI）の妥当性（KPI が KGI に効いているか）

※今回の重点施策推進事業評価では、第6次湖西市総合計画 第Ⅱ期実践計画（R8～R11）の施策・事業について KPI/KGI 目標値を設定しているため、KPI/KGI 達成度と有効性についての評価なし

＜効率性＞事業費削減の余地

評価	内容	施策数	割合
A	事業費削減の余地なし（事業費適正）	51	85.0%
B	事業費削減の余地が一部ある	8	13.3%
C	事業費削減の余地が多くある	1	1.7%
合計	－	60	100

(3) Action（事業評価）

事業の方向性

方向性	施策数	割合
↗拡大	17	29.3%
→維持	41	70.7%
↘縮小	0	－
×廃止	0	－
－休止	0	－

※No. 24、53 は評価なし

事業費の方向性

方向性	施策数	割合
↗拡大	31	52.5%
→維持	27	45.8%
↘縮小	1	1.7%
×廃止	0	－
－休止	0	－

※No. 59 は評価なし

評価対象重点施策一覧（重点施策No順）

重点施策 No	重点施策	所管部署		必要性	有効性	効率性	事業方向性	事業費方向性
		部	課	行政関与	活動⇒成果	事業費削減	判定	判定
1	集約・連携型まちづくりによる都市拠点、地域拠点及び主要集落エリア（生活拠点）での住宅建設支援	都市整備部	都市計画課	A		A	→維持	↗拡大
2	地縁による団体のまちづくり活動の支援	市民安全部	市民課	A		A	→維持	→維持
3	市民による活力あるまちづくり活動の支援	市民安全部	市民課	A		A	→維持	→維持
4	働く場におけるジェンダー平等の実現	市民安全部	市民課	A		A	→維持	→維持
5	外国人市民への日本語教育の推進	市民安全部	市民課	A		A	↗拡大	↗拡大
6	地域の防災力向上	市民安全部	危機管理課	A		A	↗拡大	↗拡大
7	災害時における医療救護体制の強化	健康福祉部	健康増進課	A		A	→維持	↘縮小
8	交通安全運動の実施	市民安全部	危機管理課	A		A	→維持	→維持
9	青色防犯パトロール	市民安全部	危機管理課	A		A	→維持	→維持
10	郷土愛を育む観光地域づくり	産業部	文化観光課	A		A	→維持	↗拡大
11	地域ブランドによるプロモーション	産業部	文化観光課	A		A	→維持	→維持
12	体験観光の強化	産業部	文化観光課	A		A	↗拡大	↗拡大
13	中小企業の経営力向上支援	産業部	産業振興課	A		A	→維持	→維持
14	スモールビジネスの創業支援によるにぎわい創出	産業部	産業振興課	A		A	↗拡大	↗拡大
15	企業立地の促進	都市整備部	都市計画課	A		A	→維持	↗拡大
16	効率的で持続可能な農業の実現	産業部	産業振興課	A		A	→維持	↗拡大
17	浜名湖の水産資源の回復と安定した供給	産業部	産業振興課	A		A	→維持	→維持
18	人材確保支援	産業部	産業振興課	A		A	→維持	→維持
19	キャリア教育	産業部	産業振興課	A		A	→維持	→維持
20	多数な働き方の支援	産業部	産業振興課	A		A	→維持	→維持
21	こどもの発達に関する相談支援の充実	こども未来部	こども未来課	A		C	↗拡大	↗拡大
22	放課後児童クラブの待機児童対策	教育委員会	教育総務課	A		A	→維持	↗拡大
23	幼児期のこどもの育ちに係る教育・保育支援サービスの充実	こども未来部	保育幼稚園課	A		A	↗拡大	↗拡大
24	小中学校体育館の空調整備	教育委員会	教育総務課	A		A		↗拡大
25	GIGAスクール構想の推進	教育委員会	教育総務課	A		A	→維持	↗拡大
26	不登校児童生徒に対する支援	教育委員会	学校教育課	A		A	↗拡大	↗拡大
27	部活動地域展開等の推進	教育委員会	学校教育課	A		A	↗拡大	↗拡大
28	文化芸術の発表と鑑賞の機会の提供	産業部	文化観光課	B		A	↗拡大	→維持
29	文化財の保存と活用	産業部	文化観光課	A		A	→維持	→維持
30	多様化するライフステージに応じたスポーツ活動の推進	教育委員会	スポーツ・生涯学習課	A		A	→維持	↗拡大

評価対象重点施策一覧（重点施策No順）

重点施策 No	重点施策	所管部署		必要性	有効性	効率性	事業方向性	事業費方向性
		部	課	行政関与	活動⇒成果	事業費削減	判定	判定
31	豊かなスポーツライフを支える環境づくり	教育委員会	スポーツ・生涯学習課	A		A	→維持	△拡大
32	多世代が利用できる講座の企画	教育委員会	スポーツ・生涯学習課	A		A	→維持	→維持
33	図書館利用の普及とPR	教育委員会	図書館	A		A	→維持	→維持
34	高齢化に伴う医療需要に対する湖西病院の診療体制強化	湖西病院	管理課	A		A	→維持	△拡大
35	産前産後ケア体制維持	湖西病院	医事課	A		A	→維持	→維持
36	若い年齢層への健康づくりの推進	健康福祉部	健康増進課	A		A	→維持	→維持
37	生活習慣病重症化予防の取り組み強化	健康福祉部	健康増進課	A		A	→維持	→維持
38	介護予防の推進	健康福祉部	高齢者福祉課	A		A	△拡大	→維持
39	認知症施策の充実	健康福祉部	高齢者福祉課	A		A	△拡大	→維持
40	障害者一人ひとりの特性に応じた就労の促進	健康福祉部	地域福祉課	A		B	→維持	△拡大
41	障害者の雇用の確保と拡大	健康福祉部	地域福祉課	A		B	→維持	△拡大
42	相談支援・情報提供体制の整備	健康福祉部	地域福祉課	A		A	△拡大	△拡大
43	包括的相談支援体制の整備	健康福祉部	地域福祉課	A		A	→維持	△拡大
44	利便性、効率性の高い公共交通ネットワークの形成（拡充）	都市整備部	都市計画課	A		B	→維持	→維持
45	上下水道施設の最適化・強靱化	環境部	上下水道課	A		B	→維持	→維持
46	公共下水道の整備	環境部	上下水道課	A		B	→維持	△拡大
47	市街地における都市計画道路未整備区間の整備	都市整備部	土木課	A		B	→維持	△拡大
48	物流の効率化を図る幹線道路の整備推進	都市整備部	都市計画課	A		A	→維持	△拡大
49	臭気対策	環境部/産業部	環境課/産業振興課	A		B	→維持	→維持
50	花と緑のまちづくり推進	環境部	環境課	A		B	→維持	→維持
51	生ごみ削減に向けた制度未利用者への周知	環境部	廃棄物対策課	A		A	△拡大	△拡大
52	中小企業等へのゼロカーボン化支援	環境部	環境課	A		A	△拡大	△拡大
53	市民（家庭）のゼロカーボン化支援	環境部	環境課	A		A	△拡大	△拡大
54	行政におけるゼロカーボン化の推進	環境部	環境課	A		A		△拡大
55	救急車の適正利用	消防本部	警防課	A		A	→維持	→維持
56	住宅用火災警報器設置維持管理に関する広報	消防本部	予防課	A		A	△拡大	△拡大
57	情報化（DX）施策の総合的な企画、調整及び推進	企画部	DX推進課	A		A	→維持	→維持
58	職員の情報システム利用技術向上、生成AI・RPA等を活用した業務効率化推進	企画部	DX推進課	A		A	△拡大	△拡大
59	継続的で安定的な財政基盤の確立	総務部	財政課	A		A	→維持	
60	公共施設再配置個別計画の進捗管理	企画部	資産経営課	A		A	→維持	→維持

Plan		総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類		小分類		重点施策	
所管部署	部					課		重点施策 No	目標
施策概要	Plan(施策・事業設計) 第6次湖西市総合計画 第Ⅱ期実践計画の重点施策ごとの概要および重点施策のために行う具体的な事業を示しています。								
重点施策のために 行う具体的な事業の内容									

Plan/Do/Check		↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載									
KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	目標値										
	実績値										
KPI②	目標値										
	実績値										
KPI③	目標値										
	実績値										
KPI④	目標値										
	実績値										
KPI⑤	目標値										
	実績値										
更新時利用 KPI'	目標値										
	実績値										

Plan/Do/Check(施策・事業設計～施策・事業実施～施策・事業評価)
 <KPI成果指標>
 重点施策における事業のKPIを設定し、実績の推移から、達成状況を評価しています。
 <KGI成果指標>
 重点施策のKGIを設定し、実績の推移から、達成状況を評価しています。

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価
KGI①	目標値									
	実績値									
KGI②	目標値									
	実績値									

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)		Check(施策・事業評価) 施策および事業について、<必要性><有効性><効率性>の観点で評価しています。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地		

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む		Action(施策・事業見直し) Checkでの評価や、課題から次年度以降の方向性を示しています。	
事業費(予算)の方向性			

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8	R9	R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画		

【参考】事業費の推移(事業2単位)
 総合計画 第Ⅱ期実践計画の計画期間における重点施策の関連事業について「事業2」単位での事業費の推移を示しています。

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	地域づくり	小分類	土地政策	重点施策	集約・連携型まちづくりによる都市拠点、地域拠点及び主要集落エリア(生活拠点)での住宅建設支援				
所管部署	部	都市整備部			課	都市計画課		重点施策 No	1	目標	暮らし
施策概要	将来の人口減少や少子高齢化にも対応したまちづくりを行うため、都市拠点や地域拠点だけではなく、主要集落エリアも含めた集約・連携型のまちづくり(立地適正化)による居住誘導と空き家等の遊休不動産の利活用を進めていきます。										
重点施策 のために 行う 具体的 な 事業の 内容	・民間宅地開発事業者への奨励金 ・民間宅地開発事業者へ土地を提供した者への奨励金 ・賃貸物件供給者への奨励金 ・公式WEBサイト、LINEの拡充 ・金融機関、不動産業者、ハウスメーカー、企業等への啓発・伴走支援 ・出前講座や説明会などの啓発活動の実施 ・優良田園住宅制度活用や地区計画手続きの伴走支援 ・空家等対策補助金制度の設立 ・空き家相談会、セミナー等の開催 ・空き家バンクの利用促進 ・空き家等対策協議会の開催 ・個別相談を受ける窓口環境の拡充 ・専門業者の紹介環境の拡充										

Plan/Do/Check

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	市街化区域内の未利用地の解消 (ha)	目標値		126	126	126	119	119			
		実績値	126								
KPI②	市街化区域内の住宅建築棟数(戸)	目標値		172	172	172	172	172			
		実績値	166								
KPI③	市街化調整区域内で住宅を建てる 方法の周知【金融機関、不動産業 者、ハウスメーカー、企業等】(件/ 年)	目標値		100	100	100	100	100			
		実績値	72								
KPI④	空き家相談のうち、所有者等か らの割合(%)	目標値		60.0	60.0	60.0	60.0	60.0			
		実績値	55.8								
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価		
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	
KGI①	市街化区域内及び市街化調整区域 のうち大規模既存集落内の人口 (人) 【47,422人以上(市街化:36,889人、 大規模集落:10,533人)】	目標値		47,422	47,422	47,422	47,422	47,422以上			
		実績値	46,869								
KGI②		目標値									
		実績値									

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	定住人口の増加や、需要の高い工業用地の確保に向けて、市全体の計画・方針を策定することは非常に重要である。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	土地利用の計画、方針の策定は、開発動向を踏まえつつ、農林漁業との調整を図っていく必要がある。また、空き家に対する補助制度を令和9年度立ち上げを目指す。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	計画してすぐに施策等が実行できるものではない。 空き家に対する補助制度を令和9年度立ち上げを目指す。	市内の土地利用を推進するため、立地適正化計画等の計画見直しや、未利用地の開発可能性の検討を行う。 特定空家等に対する公平かつ適切な措置が必要。
事業費(予算)の方向性	↗拡大	民間宅地開発補助制度として開発事業者及び賃貸物件への奨励金は、継続することで効果が出てくる。 空き家に対する補助制度を令和9年度立ち上げを目指す。	宅地開発補助制度として開発事業者及び賃貸物件への奨励金の維持を行う。また、特定空家等を発生を抑えるための規制または補助等を行う。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
393	都市計画関係事務費	359,159	22,134	105,307	25,000				
407	空家等対策事務費	712	964	0	30,000				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	地域づくり	小分類	共生社会	重点施策	地縁による団体のまちづくり活動の支援				
所管部署	部	市民安全部			課	市民課		重点施策 No	2	目標	元気
施策概要	良好な住民コミュニティの基盤強化と活発で有益な地域活動の発展を目指すため、自治会活動など地縁による団体の抱える地域課題を明確にし、持続可能な住み続けられるまちづくりを実現するための伴走支援を行います。										
重点施策 のために 行う 具体的な 事業の 内容	・課題アンケート ・関係機関と連携した課題解決につなげる講座開催や情報提供										

Plan/Do/Check

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標

活動指標(単位)		実績の推移					別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	講座開催や課題解決につながる情報について周知する自治会数【4年累計：R8～R11】(自治会)	目標値	41	82	123	164	164			
		実績値	41							
KPI②		目標値								
		実績値								
KPI③		目標値								
		実績値								
KPI④		目標値								
		実績値								
KPI⑤		目標値								
		実績値								
更新時利用 KPI'		目標値								
		実績値								

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標

成果指標(単位)		実績の推移					別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価
KGI①	解決ができていない地域課題の割合【自治会アンケート】(%)	目標値	95.0	90.0	85.0	80.0	80.0		
		実績値	100.0						
KGI②		目標値							
		実績値							

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	運営が厳しくなる自治会組織を維持するため、市の支援継続が必要。地区自治会をとりまとめる地区連合会の事務局としても支援を行う。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	講座は県の講師派遣制度を利用しており、事業費は必要最小限である。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	運営が厳しくなる自治会組織を維持するため、市の支援継続が必要。	自治会連合会と連携して効果的な補助金や支援策を検討する。
事業費(予算)の方向性	→維持	人口は減っても世帯数(自治会加入数)は減っていないため。	県事業や地域コミュニティ助成などを活用し、財源確保に努める。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
48	自治会活動費	67,211	45,707	6,532	45,707				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	地域づくり	小分類	共生社会	重点施策	市民による活力あるまちづくり活動の支援				
所管部署	部	市民安全部			課	市民課		重点施策 No	3	目標	元気
施策概要	市民活動補助事業(協働チャレンジ事業)により、新たな事業へのチャレンジ、事業の見直し、資金獲得の練習、団体運営、仲間づくりなど、補助事業利用団体が補助期間終了時に事業継続の見通しを立てられるよう支援します。										
重点施策 のために行 う具体的な 事業の内 容	・市民活動補助金利用団体の将来を見据えた事業計画作成支援 ・市民活動補助事業実施後の振り返りと将来設計支援										

Plan/Do/Check

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	応募時の事前相談、及び事業実施後の振り返りの実施回数(回/年)	目標値		2以上	2以上	2以上	2以上	2以上			
		実績値	2								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価		
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	
KGI①	市民活動補助金利用1年後に事業継続している割合(%)	目標値		50.0	50.0	50.0	50.0	50.0			
		実績値	-								
KGI②		目標値									
		実績値									

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	中間支援組織が育っていないため市が支援する必要がある。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	市民活動補助金は基金によって運営しており、相談支援に関する事業費は必要最低限である。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	行政リソースには限界があるため、地域づくりには市民活動が必要であるが、団体が育つまでは市の関与が必要。	既存団体の活動継続とともに、スタート事業を活用する新規団体の育成が必要。
事業費(予算)の方向性	→維持	市民活動補助金は基金によって運営しており、相談支援に関する事業費は必要最低限である。	基金の状況により補助上限額等、運用を検討する。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
55	市民活動補助事業	1,396	2,084	0	2,084				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	地域づくり	小分類	共生社会	重点施策	働く場におけるジェンダー平等の実現				
所管部署	部	市民安全部			課	市民課		重点施策 No	4	目標	暮らし
施策概要	男女共同参画宣言事業所やえるぼしマークの取得事例や方法などについて、事業所へ向けた情報提供を行います。										
重点施策 のために行 う具体的 な事業の 内容	・「えるぼし認定」、「くるみん認定」の取得に向けた支援										

Plan/Do/Check

KPI活動指標

実績の推移

別冊設定
目標値
R11

活動指標の達成状況評価

活動指標(単位)

達成度

達成状況評価

今後の方針

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

			R7(参考)	R8	R9	R10	R11			
KPI①	事業所向けの情報提供回数(回/年)	目標値		6	7	8	10	10		
		実績値	2							
KPI②		目標値								
		実績値								
KPI③		目標値								
		実績値								
KPI④		目標値								
		実績値								
KPI⑤		目標値								
		実績値								
更新時利用 KPI'		目標値								
		実績値								

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価
KGI①	職場において男女の地位が平等と思う人の割合【市民意識調査】(%)	目標値		32.0	33.0	34.5	36.0	36.0		
		実績値	31.0							
KGI②		目標値								
		実績値								

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	男女共同参画社会基本法に基づき、地方自治体の責務として施策を実施する義務があるため、国や県と連携し啓発を行っていく。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	啓発にかかる事業費は必要最小限である。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	男女共同参画社会基本法に基づき、地方自治体の責務として施策を実施する義務があるため、国や県と連携し啓発を行っていく。	関係各課と連携し啓発事業を実施していく。
事業費(予算)の方向性	→維持	啓発にかかる事業費は必要最小限である。	関係各課と連携し啓発事業を実施していく。

【参考】事業費の推移(事業2単位)

		R7	R8		R9		R10	R11	
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				(千円)
53	男女共同参画推進事業費	2,514	1,184	0	1,184				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	地域づくり	小分類	共生社会	重点施策	外国人市民への日本語教育の推進				
所管部署	部	市民安全部			課	市民課		重点施策 No	5	目標	元気
施策概要	外国人市民の子どもに対する日本語教育の拡充を進めるとともに、外国人市民が日本語を身につけられる場所や落ち着ける環境を提供します。これらの取り組みを支えるため、日本語教育の人材確保を進めていきます。										
重点施策 のために 行う 具体的な 事業の 内容	・小中学校へ編入学する外国人児童生徒の基礎的な日本語の習得と学校生活への円滑な適応を支援(初期支援)を行う。										

Plan/Do/Check

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	初期日本語支援受講可能期間(日間/年)	目標値		20	25	40	60	60			
		実績値	15								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価
KGI①	初期支援を受講した子ども及び保護者の中で「とても良い」「良い」と回答した割合【湖西市集計】(%)	目標値		80.0	80.0	80.0	80.0	80.0		
		実績値	-							
KGI②		目標値								
		実績値								

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	外国人市民が安定した生活基盤を築き地域社会の担い手となる上で不可欠な日本語の習得を支援することは、生活基盤・教育体制の構築として行政の関与が必要である。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	今後初期支援の日数を拡充するため、事業費は拡大する。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	△拡大	今後も増加が見込まれる外国人市民との共生のため、相互理解に欠かせない日本語教育を拡充する。	こどもだけでなく、中学生以上や大人を対象とした個別性に配慮した日本語学習環境を整える。
事業費(予算)の方向性	△拡大	今後初期支援の日数を拡充するため、事業費は拡大する。	日本語教育支援をするために、場所の確保や人材育成も拡充する必要がある。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
52	多文化共生事業	22,434	24,953	0	24,953				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	地域づくり	小分類	防災・減災	重点施策	地域の防災力向上				
所管部署	部	市民安全部			課	危機管理課		重点施策 No	6	目標	暮らし
施策概要	大地震や大津波、台風や大雨による災害から、住民の生命と財産を守るため、継続して防災訓練等を実施することで、自助・共助の意識を高め、地域の防災力の向上を図っていきます。										
重点施策 のために行 う具体的 事業の内 容	・防災訓練 ・地区防災計画の作成推進 ・感震ブレーカーの普及促進										

Plan/Do/Check

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	防災訓練の実施回数(回/年) 【9月・12月・3月の訓練継続】	目標値		3	3	3	3	3			
		実績値	3								
KPI②	避難所運営訓練を実施した避難所の割合【15避難所に対する実施避難所数の積上割合】(%)	目標値		100	100	100	100	100			
		実績値	66.6								
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価		
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	
KGI①	災害への備えができていると回答した市民の割合【市民意識調査】(%)	目標値		80.0	80.0	80.0	80.0	80.0			
		実績値	73.9								
KGI②		目標値									
		実績値									

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	地震津波対策の推進、大規模災害時には住民が自主的に災害活動に取り組めるように行政の支援と育成が必要である。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	災害の備えや職員の防災知識向上、防災態勢の確立、訓練を通じて災害時の行動を確認し課題を検証するため、事業費の削減は困難である。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	△拡大	地震津波対策、自主防災組織や地域防災指導員と協力し事業の着実な推進をしていく。	地震津波対策の着実な推進、自主防災組織の育成と活性化を図り、組織の強化及び防災意識の高揚を目指す。
事業費(予算)の方向性	△拡大	事業を着実に推進していくため、現状以上の予算が必要である。	地震津波対策の着実な推進、自主防災組織の育成と活性化を図り、組織の強化及び防災意識の高揚を目指す。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
436	防災推進事業	101,791	108,607	12,605	108,607				
437	自主防災振興事業	12,989	22,451	0	22,451				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	地域づくり	小分類	防災・減災	重点施策	災害時における医療救護体制の強化				
所管部署	部	健康福祉部			課	健康増進課		重点施策 No	7	目標	暮らし
施策概要	救護所や避難所などで、地域に医療的な視点からサポートできる人材（医療職：看護師、助産師、保健師等）を確保し、サポートナース研修会及び地域防災訓練への参加などにより人材を育成します。 また、関係団体との連携強化を目的とした検討会の実施のほか、救護所資機材や医療資材等の整備を進めます。										
重点施策 のために行 う具体的 な事業の 内容	・災害医療救護体制検討会（年3回ほか専門部会）の開催 ・サポートナース研修会の開催 ・急性期・亜急性期の体制整備（マニュアル整備、保健医療福祉調整本部の体制整備ほか）										

Plan/Do/Check

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	研修会の実施、防災訓練の実施【4 年累計：R8～R11】(回)	目標値		1 (年1以上)	2 (年1以上)	3 (年1以上)	4 (年1以上)	4以上			
		実績値	2								
KPI②	災害医療救護検討会(専門部会含 む)開催回数【4年累計：R8～R11】 (回)	目標値		4 (年4)	8 (年4)	12 (年4)	16 (年4)	-			
		実績値	6								
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価		
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	
KGI①	サポートナース登録者数(名)	目標値		33	35	37	40	40			
		実績値	30								
KGI②		目標値									
		実績値									

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	災害時には医療需要が急増し、民間や個々の医療機関だけでは対応は困難。住民の安全確保のため、市が関係機関との連携や医療救護体制を整備する必要がある。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	災害時の医療提供体制を維持するために必要な経費の削減には限界がある。ただし、医療資機材や医薬品は、在庫管理や更新方法等の見直しにより一定の事業費削減効果が期待できる。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	大規模災害時に必要な医療救護体制を維持するため、関係機関との連携や資機材・医薬品の確保、訓練・研修の実施を継続する必要がある。	関係機関との連携強化を図り、研修や訓練の実施と検証を行う。資機材や医薬品の管理更新方法を適宜見直し、効率的な管理に努める。
事業費(予算)の方向性	↘縮小	R8は救護所用医療資機材の更新年度(隔年)と、災害用トイレ整備により予算が大幅増額となったため、R9は縮小する。	R9は災害用トイレの追加整備を行う。既存資機材等の状態を確認し、適切な維持管理と計画的な更新を行う。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
234	災害医療対策事業	850	5,734	0	2,382				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	地域づくり	小分類	交通安全・防犯	重点施策	交通安全運動の実施				
所管部署	部	市民安全部			課	危機管理課		重点施策 No	8	目標	暮らし
施策概要	交通事故の被害者にも加害者にもならないために、警察や学校、自治会などと連携し、市民の交通安全意識の高揚を図るために交通安全運動を実施します。										
重点施策 のために行 う具体的 な事業の 内容	・交通安全運動(春・夏・秋・年末) ・交通指導隊活動の支援										

Plan/Do/Check

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	交通事故防止キャンペーン(回/年) 【4月・7月・9月・12月のキャンペーン 継続】	目標値		4	4	4	4	4			
		実績値	4								
KPI②	交通指導隊街頭指導回数(回/年)	目標値		3,000	3,000	3,000	3,000	3,000			
		実績値	2,914								
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価		
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	
KGI①	交通事故件数(件/年) ※R3～R7(5年平均):219件/年	目標値		200件以下	200件以下	200件以下	200件以下	200件以下			
		実績値	175								
KGI②		目標値									
		実績値									

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	交通安全対策委員会の開催、交通指導隊の支援、各関係団体の調整など行政の支援が必要である。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	啓発活動に必要な経費である。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	各団体の協力を得ながら、交通事故減少につながる活動を継続していく。	交通安全運動の活動を改善する。
事業費(予算)の方向性	→維持	今の予算を維持していく。	交通安全運動ののぼり旗作成。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
34	交通安全推進事業	12,424	13,071	0	13,071				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	地域づくり	小分類	交通安全・防犯	重点施策	青色防犯パトロール				
所管部署	部	市民安全部			課	危機管理課		重点施策 No	9	目標	暮らし
施策概要	地域の安全安心まちづくり協議会と協力しながら、青色回転灯を整備した自動車を用いて地域の防犯パトロールを実施します。										
重点施策 のために行 う具体的 な事業の 内容	・青色防犯パトロール										

Plan/Do/Check

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標

	活動指標(単位)	実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
			R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	青色防犯パトロール件数(回/年) ※R3～R7(5年平均):99回/年	目標値		100以上	100以上	100以上	100以上	100以上			
		実績値	104								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標

	成果指標(単位)	実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価		
			R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	
KGI①	犯罪認知件数(件/年) ※R3～R7(5年平均):238件/年	目標値		200以下	200以下	200以下	200以下	200以下			
		実績値	246								
KGI②		目標値									
		実績値									

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	交通安全対策委員会の開催、交通指導隊の支援、各関係団体の調整など行政の支援が必要である。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	防犯対策の強化に必要な経費である。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	安全で安心して住める湖西市実現のため必要な事業である。	今後も同等な活動を維持していくことが必要。
事業費(予算)の方向性	→維持	今の予算を維持していく。	防犯灯を設置していく。

【参考】事業費の推移(事業2単位)

事業2	事業名	R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
		決算	当初	繰越	計画				
42	防犯まちづくり事業	24,490	25,052	0	25,052				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	産業経済	小分類	観光振興	重点施策	郷土愛を育む観光地域づくり					
所管部署	部	産業部			課	文化観光課			重点施策 No	10	目標	元気
施策概要	シビックプライドの育成と強化を図るため、SNSを活用した観光資源の情報発信を行い、市民が自らの地域に誇りを持ち、その魅力を広く伝える機運を醸成します。 観光施設の持続可能な管理運営を強化し、地域資源を最大限に活用できる体制を整えます。											
重点施策 のために行 う具体的 な事業の 内容	・海湖館とその周辺施設、道の駅潮見坂、観光トイレ等観光施設及び観光と親和性が高い文化財施設の持続可能な運営管理 ・湖西連峰ハイキングコース及び入り口等周辺の維持管理 ・SNS等を活用した観光資源の情報発信											

Plan/Do/Check

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標

活動指標(単位)		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
			R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	湖西市公式観光Instagramへの投稿数【kosai_kankou】(回/年)	目標値		90	94	98	102	102			
		実績値	47								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標

成果指標(単位)		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価		
			R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	
KGI①	市民が国内外の友人に湖西市を訪れてもらいたいと思う割合【市民意識調査】(%)	目標値		30.0	35.0	40.0	45.6	45.6			
		実績値	25.0								
KGI②		目標値									
		実績値									

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	市が関与することで、地域資源の認知度向上や市民のシビックプライドの育成が促進され、観光施設の維持管理や観光産業の活性化に繋がる。他の事業と重複しつつも、市独自の課題に対応するため、行政の関与が不可欠。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	観光施設の維持管理や市民の意識向上において、既存の資源や施設を活用しつつ、効率的な運営が求められるが、現行の事業内容では大きなコスト削減の余地は限られており、成果を下げずに削減することは難しいと考える。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	長期を見据えて事業を推進する必要がある。	施設の持続可能な管理運営を行い、SNS等を活用した情報発信を継続していく。
事業費(予算)の方向性	↗拡大	観光施設の老朽化に伴う施設改修費は今後増大を予定。	施設点検を通じて、修繕箇所の優先順位を設定し、計画的に実施する。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
349	観光振興事業	34,531	31,959	3,300	31,959				
351	観光施設管理事業	4,709	5,670	0	5,670				
352	道の駅潮見坂管理運営事業	17,484	16,700	0	16,761				
355	新居弁天今切体験の里管理運営事業	46,101	49,088	0	49,027				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	産業経済	小分類	観光振興	重点施策	地域ブランドによるプロモーション				
所管部署	部	産業部			課	文化観光課		重点施策 No	11	目標	元気
施策概要	地元特産品や観光情報などのPR方法を新たに発掘し、市の魅力を広く発信することで、湖西ブランドの確立につなげます。 行政、観光協会、商業団体との役割分担を明確にし、情報共有を密にしながら相互連携できる環境を整えます。										
重点施策 のために 行う 具体的な 事業の 内容	・地元特産品や観光情報等PR方法の新たな発掘 ・地場産品を活用したふるさと納税の推進 ・観光案内所の効果及び実現可能性を検証するための実証実験 ・市・観光協会や観光地域づくり法人での活用 ・観光協会や観光地域づくり法人が実施する集客イベント等の支援・協力 ・地域連携DMOとの連携強化										

Plan/Do/Check

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	湖西市観光公式HP内「お知らせ・イベント」への投稿数(投稿/年)	目標値		105	110	115	120	120			
		実績値	56								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価		
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	
KGI①	市の観光公式ウェブサイトのページビュー数(ビュー/年)	目標値		614,000	626,000	638,000	650,000	650,000			
		実績値	579,299								
KGI②		目標値									
		実績値									

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	市の関与により、地域ブランドの確立と広域的な観光連携が進み、市民や観光事業者と連携して観光誘致が強化され、地域経済の活性化が期待される。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	地域ブランドの確立には、広域連携や観光資源の発掘が必要であり、効果的なプロモーションには一定の費用がかかる。コスト削減の余地は難しいと考える。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	派遣職員を通じて情報共有が図られている。	引き続き、観光協会やDMOとの情報共有を密にしながら相互連携を図る。
事業費(予算)の方向性	→維持	即効性はないが、継続して実施する必要がある。	事業費削減の可能性を探りながら、引き続き実施していく。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
349	観光振興事業	34,531	31,959	3,300	31,959				
22	ふるさと納税推進事業	237,483	241,019	0	241,019				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	産業経済	小分類	観光振興	重点施策	体験観光の強化				
所管部署	部	産業部			課	文化観光課		重点施策 No	12	目指す姿	元気
施策概要	新たな体験事業として「舟運・湖上遊覧」に着目し、観光プログラム化に取り組みます。 産業観光の推進を図り、地元企業や漁業、農業、畜産業と観光を結びつけた体験商品の提供を進めます。										
重点施策 のために行 う具体的 な事業の 内容	・新居弁天地域観光活用事業の推進（舟運・湖上遊覧） ・道の駅潮見坂の観光拠点のビルドアップ ・海湖館の人気体験コンテンツの受入体制の強化・サイクルツーリズムにおける地域連携 ・「漁業」「農業」「畜産業」「モノづくり」の体験の商品化 ・景観を含めた産業観光の商品化										

Plan/Do/Check

※第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載KPIのみ

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	体験観光型商品に関する観光関係 団体との打ち合わせ回数(回/年) ※R7は観光商品のプレゼンが集中し たことにより回数増	目標値		10以上	10以上	10以上	10以上	10以上			
		実績値	16								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

※第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載KPIのみ

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価		
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	
KGI①	来訪者満足度【浜松・浜名湖ツーリ ズムビューロー調査】(%) ※令和6年度実績値94.9%を維持	目標値		95.0以上	95.0以上	95.0以上	95.0以上	95.0以上			
		実績値	96.1								
KGI②		目標値									
		実績値									

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	市の関与により、体験型観光の受け入れ環境が整備され、観光施設の充実や地域産業との連携が進むことで、観光客の満足度向上と地域経済の活性化が期待される。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	既存のリソース(既存の観光施設や地域資源)を活用しており、コスト削減の余地はないと考える。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	△拡大	舟運・遊覧事業について、単独での収益化は難しいものの、誘客への寄与は大きい。	令和8年度の実証実験の検証をもって、事業の本格運行の是非を判断する。
事業費(予算)の方向性	△拡大	燃料費の高騰等今後も増額が見込まれる。	料金の値上げ等観光協会とも協議・連携していく。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
349	観光振興事業	34,531	31,959	3,300	31,959				
352	道の駅潮見坂管理運営事業	17,484	16,700	0	16,700				
355	新居弁天今切体験の里管理運営事業	46,101	49,088	0	49,088				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	産業経済	小分類	工業・商業	重点施策	中小企業の経営力向上支援				
所管部署	部	産業部			課	産業振興課		重点施策 No	13	目標	元気
施策概要	市内中小企業が行う販路拡大やDX推進などの経営力向上に向けた取り組みに対して支援します。										
重点施策 のために 行う 具体的な 事業の 内容	・展示会等への出店経費を補助 ・デジタル技術の導入経費を補助 ・副業人材の活用に係る経費を補助 ・豊橋技科大が実施する教育プログラム受講料を補助										

Plan/Do/Check

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	市内中小企業を対象とする補助金の チラシ配布枚数(枚/年)	目標値		1,700以上	1,700以上	1,700以上	1,700以上	1,500以上			
		実績値	1,610								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価		
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	
KGI①	市内中小企業を対象とする補助金の 年間交付件数(件/年)	目標値		30	30	30	30	30			
		実績値	29								
KGI②		目標値									
		実績値									

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	市内モノづくり企業は地域経済や雇用を支える重要な存在であり、中小企業単独では対応が難しい課題も多いことから、市が継続的に支援する必要性は高い。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	補助制度の効果を維持するためには、一定の事業費確保が必要であり、削減余地は少ない。一方で、周知や事務手続きの効率化を図る余地はある。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	市内中小企業の販路拡大やDX推進を支援することで、企業競争力の維持・向上に繋がっているため、事業を継続する。	企業ニーズを踏まえながら、制度周知や相談対応を強化し、より利用しやすい制度運用を図る。
事業費(予算)の方向性	→維持	市内中小企業への継続的な支援に必要な事業であり、現行水準の事業費を維持する。	企業ニーズや利用状況を踏まえ、効果的な運用と事務の効率化を図る。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
343	商工業振興事業	30,229	32,001	0	32,751				
748	モノづくり推進事業	232,285	10,919	0	10,919				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	産業経済	小分類	工業・商業	重点施策	スモールビジネスの創業支援によるにぎわい創出				
所管部署	部	産業部			課	産業振興課		重点施策 No	14	目標	元気
施策概要	駅周辺や関所周辺を中心とした市内のにぎわい創出を図るため、創業する事業者や新事業を展開する事業者を支援します。 事業者の準備段階として地域とのつながりを築く機会を提供します。										
重点施策 のために行 う具体的 な事業の 内容	・創業相談窓口の開設 ・空き店舗等を活用して開業した事業者に開業経費を補助 ・特定創業支援等事業による支援										

Plan/Do/Check

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	セミナー、相談会実施回数【4年累計：R8～R11】(回)	目標値		12 (年12)	24 (年12)	36 (年12)	48 (年12)	48			
		実績値	10								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価		
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	
KGI①	創業支援による出店者数【4年累計：R8～R11】【湖西市集計】(事業者)	目標値		27 (年27)	55 (年28)	84 (年29)	114 (年30)	114			
		実績値	31								
KGI②		目標値									
		実績値									

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	支援機関毎(金融機関、商工会など)の類似事業はあるが、市の補助制度、融資制度等を含めて、支援機関同士の連携、横断的な支援体制の構築に向けた取組が必要である。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	事業費削減の余地はないが、実施体制に改善の余地はある。ただし、支援機関や関係者とのハブとなる組織、人の育成が必要である。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	△拡大	支援機関、企業等のハブとなる人材の育成、支援機関、関係者間、関係課間の連携強化を図る。	商工会と連携した相談会を継続しながら、関係者を含めた実施体制の検討を進める。また、関係課間の情報共有や連携強化を図る。
事業費(予算)の方向性	△拡大	関係者間のハブとなる人材(地域おこし協力隊)の育成を継続する。	ハブとなる人材(地域おこし協力隊)の選定、育成

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
343	商工業振興事業	30,229	32,001	0	32,751				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	産業経済	小分類	工業・商業	重点施策	企業立地の促進				
所管部署	部	都市整備部			課	都市計画課		重点施策 No	15	目標	元気
施策概要	組合施行の浜名湖西岸土地区画整理事業において、進出企業への工業用地の引渡しを推進します。 産業の多様な価値と地域の雇用を創造するため、交通アクセスにも恵まれた新たな工業用地の整備を進めます。										
重点施策 のために行 う具体的な 事業の内 容	・内山工業団地整備 ・大沢工業団地整備										

Plan/Do/Check

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標

	活動指標(単位)	実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
			R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	新たな工業用地の整備【内山】(ha)	目標値		0.0	0.0	0.0	3.1	3.1			
		実績値	0.0								
KPI②	新たな工業用地の整備【大沢】(ha)	目標値		0.0	0.0	0.0	2.8	2.8			
		実績値	0.0								
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標

	成果指標(単位)	実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
			R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価
KGI①	新たな工業用地の整備(ha)	目標値		0.0	0.0	0.0	5.9	5.9		
		実績値	0.0							
KGI②		目標値								
		実績値								

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	需要の高い工業用地の確保に向けて、市全体の計画・方針を策定することは非常に重要である。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	本事業の遅れが発生することにより、関連施策の進捗が出来なくなる。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	面整備の事業完了までには期間を要する。 継続的な事業の推進。	新たな工業用地整備を実施。 関係機関協議による事業の推進。
事業費(予算)の方向性	↗拡大	協定及び事業計画に合わせて事業を進捗させる。 原材料の高騰や人件費等の上昇により造成費用等が増加。	関係機関協議による事業の推進。 適正手法の検討。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
408	都市計画関係整備事業	0	558,754	0	2,034,800				
393	都市計画関係事務費	359,159	22,134	105,307	-				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	産業経済	小分類	農業・漁業	重点施策	効率的で持続可能な農業の実現				
所管部署	部	産業部			課	産業振興課		重点施策 No	16	目標	元気
施策概要	農地の基盤整備事業を積極的に活用し、中間管理事業を通じた農地の集積と集約を進め効率的な営農を可能とすることで、認定農業者等を中心とした効率的で持続可能な農業経営を実現し、担い手の確保を目指します。										
重点施策 のために行 う具体的 な事業の 内容	・経営体育成促進事業(担い手育成農地集積事業)等国庫補助等を活用した農地の再基盤整備 ・荒廃農地再生・集積促進事業費補助金による荒廃農地の再生 ・地域計画による農地中間管理事業を活用した農地集積										

Plan/Do/Check

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	担い手への農地の集積・集約【中間管理事業を活用した農地の集積面積】(ha)	目標値		100.0	110.0	120.0	130.0	150.0			
		実績値	81.0								
KPI②	多面的機能支払交付金交付対象面積(ha)	目標値		650.0	650.0	650.0	650.0	-			
		実績値	631.8								
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価		
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	
KGI①	農業・漁業の担い手数【認定農業者数+浜名漁協正組合員数】(人) ※カッコ内:認定農業者数	目標値		280以上 (120)	280以上 (120)	280以上 (120)	280以上 (120)	280以上			
		実績値	284 (111)								
KGI②		目標値									
		実績値									

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	農地の再基盤整備、農村環境の整備及び農業用施設の機能保全については、市として、負担金、補助金を交付する必要がある。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	制度化されており、事業費は決まっている。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	国庫等の補助を活用し、農業用施設の維持管理、農村環境の保全を図る。	多面的機能支払交付金の対象面積の増加による草刈等の保全区域の増加。
事業費(予算)の方向性	↗拡大	耐震、豪雨調査結果、老朽化等による農業用施設(ため池、排水機場等)の改修等により増額となる。	令和9年度以降、農業用ため池の改修、廃止等の予定があり、負担金、工事費等が増額見込。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
333	土地改良施設管理運営事業	6,099	11,373	0	20,873				
335	土地改良整備事業	95,416	108,448	0	110,000				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	産業経済	小分類	農業・漁業	重点施策	浜名湖の水産資源の回復と安定した供給				
所管部署	部	産業部			課	産業振興課		重点施策 No	17	目標	元気
施策概要	静岡県、浜松市、浜名漁協が組織する浜名湖地区水産振興協議会等と連携し、アサリ稚貝の育成やクルマエビの稚エビ、親ウナギの放流など、水産資源の回復に向けた事業を実施し、安定して漁業に取り組める環境を整備することで、担い手の確保を目指します。										
重点施策 のために行 う具体的な 事業の内 容	・浜名湖地区水産振興協議会による水産資源の回復事業 ・栽培漁業振興事業費補助金によるクルマエビ等の放流										

Plan/Do/Check

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標

活動指標(単位)		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11			達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	年間水揚高(万円/年)	目標値	43,050	70,000	90,000	115,000	115,000				
		実績値	56,491								
KPI②	栽培漁業振興事業による稚ガニ等の放流尾数(尾/年)	目標値	45,000	50,000	50,000	50,000	-				
		実績値	0								
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標

成果指標(単位)		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価		
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11			達成度	達成状況評価	
KGI①	農業・漁業の担い手数【認定農業者数＋浜名漁協正組合員数】(人) ※カッコ内:浜名漁協正組合員数	目標値	280以上 (173)	280以上 (170)	280以上 (170)	280以上 (170)	280人以上				
		実績値	284 (173)								
KGI②		目標値									
		実績値									

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	漁業資源の回復や漁家経営安定のためには、市が継続して事業を実施する必要がある。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	静岡県や浜松市と連携した事業が多く、事業費は高額だが、関係機関と負担しあうことで、効率的な事業費となる。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	浜松市等関係機関と共にアサリ等水産資源の回復等の水産振興策を講じていく。	クルマエビの放流等による水産資源の回復。 静岡県による漁場整備。
事業費(予算)の方向性	→維持	鷺津漁港の整備は終わるが、協議会や県の水産資源の回復事業に係る負担金が増額となる。	R8～R14に静岡県が実施する沿岸漁場整備開発事業に対し不安金支出予定。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
340	水産業振興事業	12,700	33,013	56,242	4,252				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	産業経済	小分類	産業人材の確保	重点施策	人材確保支援				
所管部署	部	産業部			課	産業振興課		重点施策 No	18	目標	元気
施策概要	地域企業と求職者を結びつけることを目的に、就職支援イベントや企業向けセミナーなどを開催します。地域の企業が必要とする人材の確保を支援し、地域経済の活性化を図ります。										
重点施策 のために行 う具体的 な事業の 内容	・高校生向け合同企業説明会の開催 ・大学生及び再就職者等を対象とした就職フェアの開催 ・高校生向けJOBフェアの開催										

Plan/Do/Check

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	就職イベントの実施回数(回/年)	目標値		4以上	4以上	4以上	4以上	4以上			
		実績値	4								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価		
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	
KGI①	就職イベントの参加者数【湖西市集計】(人/年)	目標値		560	560	560	560	400			
		実績値	555								
KGI②		目標値									
		実績値									

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	人材確保が課題となる中、就職イベントの開催による雇用機会の創出や企業と求職者のマッチング支援は地域経済の維持に重要であり、市の関与の必要性は高い。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	就職イベントの継続実施や周知、参加企業の確保には一定の経費が必要であり、事業効果を維持するためには現状規模の予算確保が必要。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	中小企業の人材確保支援や求職者とのマッチング機会の創出に一定の効果があるため、事業を継続する。	参加者数の増加につながるよう、学校や関係機関と連携した周知強化を行うとともに、企業ニーズや求職者ニーズを踏まえた就職イベントの内容充実を図る。
事業費(予算)の方向性	→維持	就職イベントの継続実施や効果的な周知に必要な経費であり、現行の事業規模を維持する。	事業効果を高めるため、周知方法や実施内容を見直しながら、効率的な事業運営に努める。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
315	雇用開発事業	13,261	14,675	0	14,675				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	産業経済	小分類	産業人材の確保	重点施策	キャリア教育				
所管部署	部	産業部			課	産業振興課		重点施策 No	19	目標	元気
施策概要	子どもたちに地元企業を身近に感じてもらい、地域の仕事に対する理解と愛着を深めることで、将来も地元で働きたい、暮らしたいと思ってもらうことを目的に、企業見学や出前講座など学校と企業のマッチングを実施します。										
重点施策 のために行 う具体的な 事業の内 容	・市内小中学校を対象とした企業見学のマッチング ・市内小中学校向けの出前講座のマッチング										

Plan/Do/Check

KPI活動指標

活動指標(単位)		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
			R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	キャリア教育協力企業数(社) 【累計：R6～R11】	目標値		105	110	115	120	120			
		実績値	98								
KPI②	キャリア教育参画企業数(社)	目標値		37以上	37以上	37以上	37以上	-			
		実績値	37								
KPI③	キャリア教育実施企業数(社/年)	目標値		17以上	17以上	17以上	17以上	-			
		実績値	17								
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

KGI成果指標

成果指標(単位)		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
			R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価
KGI①	企業見学・出前講座等の実施校数 (校/年)	目標値		9以上	9以上	9以上	9以上	9以上		
		実績値	9							
KGI②		目標値								
		実績値								

Check

項目	評価	評価コメント
<必要性> 行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	学校と企業をつなぐ調整役は民間単独では担いにくく、地域産業を支える人材育成・地元定着促進の観点からも、市が継続的に関与する必要性は高い。
<有効性> 成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性> 事業費削減の余地	A	バス借上料や特別授業の会場使用料が事業費の大部分を占めており、事業実施に必要な経費であるため、削減余地は低い。

Action

判定	判定コメント	改善点や今後の予定
→維持	地域産業への理解促進や人材育成につながる事業であり、継続して実施する必要がある。	学校・企業との連携強化を図りながら、協力企業の拡大や実施内容の充実を進める。
→維持	現状の事業規模を維持するためには、現行水準の予算が必要である。	実施方法の工夫による効率的な運営に努めながら、学校・企業との連携強化を進める。

【参考】事業費の推移(事業2単位)

		R7	R8		R9		R10	R11
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画			
748	モノづくり推進事業	232,285	10,919	0	10,919			

(千円)

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	産業経済	小分類	産業人材の確保	重点施策	多数な働き方の支援				
所管部署	部	産業部			課	産業振興課		重点施策 No	20	目標	元気
施策概要	働く時間や場所、雇用形態など、個人のニーズや状況に応じた働き方が重視される中、就業者・就業希望者を対象に、就業形態の多様化に対応したスキルの習得を支援するため、テレワークや副業・兼業などに関するセミナーやマッチングイベントを開催します。										
重点施策 のために行 う具体的な 事業の内 容	・在宅ワークに関するセミナーを実施 ・ハローワークとの共催セミナーを実施										

Plan/Do/Check

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	求職者向けセミナー等の開催回数 (回/年) ※効率的なセミナー開催に向けて、 R8から内容や開催方法を見直し	目標値		35以上	35以上	35以上	35以上	30以上			
		実績値	39								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価		
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	
KGI①	セミナー参加者のうちの就業者数 【湖西市集計】(人/年)	目標値		8以上	8以上	8以上	8以上	8以上			
		実績値	6								
KGI②		目標値									
		実績値									

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	求職者の経済的な安定や中小企業の人材確保、若年者の地域定着等に効果的であり、民間だけでは対応が難しい部分もあり、関係機関や企業と連携して市が継続的に支援する必要がある。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	多様な人材の就労支援を継続的に実施するためには、一定の事業費が必要であり、削減余地は低い。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	地域産業の人材確保や地域経済の活性化に必要な取組みであり、継続して実施する必要がある。	求職者ニーズや社会情勢の変化に合わせ、セミナー、相談内容等の見直しを行い、就業につながる取組を推進していく。
事業費(予算)の方向性	→維持	毎年対象者が入れ替わるため、継続的に事業を実施するためには、現行水準の事業費を維持する必要がある。	求職者ニーズや社会情勢の変化に合わせ、セミナー、相談内容等の見直しを行い、効率的な事業執行に努める。また、就業につながる効果的な支援内容の充実を図る。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
315	雇用開発事業	13,261	14,675	0	14,675				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	育み・学び	小分類	子育て	重点施策	こどもの発達に関する相談支援の充実				
所管部署	部	こども未来部			課	こども未来課		重点施策 No	21	目標	暮らし
施策概要	こどもの発達に関するあらゆる心配事や困り感に対し、保育士、保健師、心理士等の専門チームによる早期からの相談支援を強化します。教室や講座を通して保護者の不安に寄り添ったり、園との連携を強化したりしながら、こどもの育ちを支える保護者や園への相談・助言・支援を行います。										
重点施策 のために行 う具体的な 事業の内 容	・早期からの保護者や園への相談支援 ・発達相談（随時相談、対象年齢の拡大） ・親子ふれあい教室（就園前児） ・出張相談会（公立園年中児） ・発達支援の部屋（公立園年長児） ・こども未来講座（保護者向け講座・ペアレントプログラム・支援者向け講座）										

Plan/Do/Check

KPI活動指標

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

活動指標（単位）		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
		R7（参考）	R8	R9	R10	R11			達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	発達相談支援事業を利用した件数（回/年）	目標値	220	240	245	250	250				
		実績値	217								
KPI②	発達相談実施回数（回/年）	目標値	100	120	125	130	－				
		実績値	87								
KPI③	発達支援の部屋実施回数（回/年）	目標値	27	27	30	33	－				
		実績値	27								
KPI④	こども未来講座参加者数（人/年）	目標値	89	100	108	108	－				
		実績値	72								
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標

成果指標（単位）		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
		R7（参考）	R8	R9	R10	R11			達成度	達成状況評価
KGI①	育児やこどもの発達に関する相談や支援の場があると回答した割合【湖西市こども計画アンケート】（％）	目標値	60.0	63.0	66.0	70.0	70.0			
		実績値	57.4							
KGI②		目標値								
		実績値								

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性（行政が行う必要があるか）	A	園・学校現場では支援を必要とするケースが増加しており、園や学校との連携が重要である。行政として園や学校現場と連携して取り組むことで、現場に応じた支援や調整が可能となり、円滑な支援体制が構築できる。
<有効性>	成果（KGI）に対する活動（KPI）の妥当性（KPIがKGIに効いているか）		
<効率性>	事業費削減の余地	C	浜松市・豊橋市への職員派遣終了に伴い、研修費用削減（160,000円）

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	△拡大	保護者や支援者の困り感を軽減するために、心理士による講座の開催や発達相談の拡充を実施する必要がある。	心理士の勤務日増加。 保育士支援力向上のための講座の開催。 発達支援事業について外部機関による支援依頼。
事業費（予算）の方向性	△拡大	保護者や支援者に適切な支援を行うために、心理士の見立てや助言が必要。心理士の勤務日数を増やす必要がある。	心理士勤務日増加分の報償費。（15,000円×46日＝690,000円）

【参考】事業費の推移（事業2単位）		R7	R8		R9		R10	R11	（千円）
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
255	発達支援事業	1,880	5,293	0	5,823				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	育み・学び	小分類	子育て	重点施策	放課後児童クラブの待機児童対策				
所管部署	部	教育委員会			課	教育総務課		重点施策 No	22	目標	暮らし
施策概要	放課後における児童の安全・安心な場所の提供に関する体制の整備や利用の促進に努め、保護者が安心して働くことができる環境づくりを推進します。										
重点施策 のために行 う具体的な 事業の内 容	・市内10クラブ16単位の事業者への運営委託 ・長期休暇専用クラブの開設										

Plan/Do/Check

KPI活動指標

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

活動指標(単位)		実績の推移					別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	長期休暇専用クラブの開設(単位)	目標値	0	1	1	2	2			
		実績値	0							
KPI②		目標値								
		実績値								
KPI③		目標値								
		実績値								
KPI④		目標値								
		実績値								
KPI⑤		目標値								
		実績値								
更新時利用 KPI'		目標値								
		実績値								

KGI成果指標

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

成果指標(単位)		実績の推移					別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価
KGI①	放課後児童クラブの待機児童数(人)	目標値	0	0	0	0	0		
		実績値	0						
KGI②		目標値							
		実績値							

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	児童の健全な育成を図るために行政の関与は引き続き必要ではあるが、事業運用については、サービスの質を確保した上で、民間事業者の活用を段階的に進めていく。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	支援員・補助員の少数化等により国・県の基準を下回る金額で実施しており、効率的運営を行っている。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	今後も待機児童を発生させることなく継続して実施していく。	障害児等の登録数が増加傾向にあるため、各クラブの受け入れ体制を整備する。
事業費(予算)の方向性	↗拡大	少子化ではあるが、人件費や備品費等の高騰、障害児対応件数の増加が想定される。	令和11年度の東小学校と知波田小学校の統合に伴う各クラブの統合に係る検討を進める。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
201	放課後児童健全育成事業	81,251	95,763	0	111,960				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	育み・学び	小分類	子育て	重点施策	幼児期のこどもの育ちに係る教育・保育支援サービスの充実				
所管部署	部	こども未来部			課	保育幼稚園課		重点施策 No	23	目標	暮らし
施策概要	幼稚園・保育所・認定こども園、各種一時預かりなどの教育・保育支援サービスによる支援の充実、環境整備を進めるとともに、小学校への円滑な接続を図ります。										
重点施策 のために行 う具体的な 事業の内 容	・児童受入れ拡充のための保育士人材確保 ・施設整備による受入れ拡充 ・既存民間保育施設の定員拡充に資する保育士確保補助制度の新設										

Plan/Do/Check

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	認可保育・教育施設の3号認定(0～2歳児)定員(人)	目標値		398	419	441	463	477			
		実績値	402								
KPI②	認可保育・教育施設の3号認定(0～2歳児)の在園児数【年度末時点】(人)	目標値		456	482	477	474	－			
		実績値	425								
KPI③	私立認定教育・保育施設に勤務する保育士数【4月1日時点】(人)	目標値		153	160	168	176	－			
		実績値	146								
KPI④	乳児等通園支援事業の実施事業所数(か所)	目標値		5	6	6	7	－			
		実績値	2								
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価
KGI①	入所待ち児童数【年度末時点】(人) ※認可教育・保育施設0～2歳児	目標値		60	58	34	19	0		
		実績値	87							
KGI②		目標値								
		実績値								

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	未就学児の教育・保育サービスは民間施設も国・県・市の支援がなければ運営できない。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	人口減少対策、労働インフラとしての確保、自治体存続のため必要不可欠な事業であり、サービスの維持・充実のために事業費を惜しむべきではない。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	△拡大	民間保育施設の新設による入所待ち児童対策を見直し、新たに保育人材確保などの施設支援を導入していく。	民間施設への支援策を創設し、課題となっている保育人材の維持・確保を促進する。
事業費(予算)の方向性	△拡大	他市町に比べて民間施設への支援メニューが少ないため、民間施設の入所受入数の維持拡大に資する支援予算を拡大する。	効果が期待できる新たな支援制度を検討し、令和9年度からの導入に向け子育て世帯への意向調査や既存民間施設との調整を進める。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
219	民間保育所等助成事業	1,354,301	1,394,002	0	1,408,258				
559	幼稚園・こども園総務費	105,270	121,770	0	123,840				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	育み・学び	小分類	学校教育	重点施策	小中学校体育館の空調整備				
所管部署	部	教育委員会			課	教育総務課		重点施策 No	24	目標	暮らし
施策概要	近年の記録的な猛暑を受け、児童生徒の健康と安全を確保するため、小中学校体育館へ計画的に空調設備を整備します。また、災害時の指定避難所として、避難者の生活環境を改善し、地域防災拠点の機能強化を推進します。										
重点施策 のために行 う具体的 な事業の 内容	・小中学校体育館への空調設備整備										

Plan/Do/Check

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	小中学校体育館の空調設備整備校数(校)	目標値		0	4	9	9	9			
		実績値	0								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価
KGI①	小中学校体育館の空調設備整備率(%)	目標値		0.0	44.0	100	100	100		
		実績値	0.0							
KGI②		目標値								
		実績値								

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	学校体育館は、児童生徒が日常的に利用する教育施設であるとともに、災害時には指定避難所となる公共施設であり、安全で快適な環境を確保するため、市が整備する必要がある。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	教育環境の改善と避難所機能の確保に必要な事業であり、適正な設計や補助制度の活用により事業費の削減を図っているため、さらなる削減の余地は少ない。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む		令和8年度からの新規事業のため評価対象外	
事業費(予算)の方向性	△拡大	教育環境の向上と避難所機能の強化のため、計画的な整備に必要な事業費を確保する。	様々な整備手法を比較検討し、コスト削減に努めながら計画的に整備を進める。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
724	小学校施設整備事業	94,602	45,702	63,800	756,366				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	育み・学び	小分類	学校教育	重点施策	GIGAスクール構想の推進				
所管部署	部	教育委員会			課	教育総務課		重点施策 No	25	目標	暮らし
施策概要	情報通信技術（ICT）を使って、学習者の理解度や進捗に応じて教材や学習内容を個別に調整する学習方法であるアダプティブラーニング教材の活用を推進します。										
重点施策 のために行 う具体的な 事業の内 容	・ICT支援員配置業務 ・教育用コンピュータ整備事業										

Plan/Do/Check

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標

	活動指標(単位)	実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
			R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	小中学校体育館へのWi-Fi設備(校) ※R10年度:湖西中が岡崎中へ統合 ※R11年度:東小と知波田小の統合	目標値		9 (小5中4)	11	10	9	11			
		実績値	9 (小5中4)								
KPI②	ICT支援員配置回数の充実(〇校に〇人)	目標値		小中11校 に2人	4校に1人	4校に1人	4校に1人	4校に1人			
		実績値	小中11校 に2人								
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標

	成果指標(単位)	実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
			R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価
KGI①	週に1回以上、授業で一人一台のICT機器を利用している教員の割合【教育委員会アンケート調査】(%)	目標値		77.0	79.0	81.0	82.0	82.0		
		実績値	75.0							
KGI②		目標値								
		実績値								

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	教育環境の整備・充実を図るためには行政の関与が不可欠であり、事業の性質上、民間が参入が見込まれる事業ではない。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	限られた予算の中で効率的に実施することができている。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	今後も現状の教育環境を低下させることなく継続して実施していく必要がある。	学校現場におけるICT機器利用率の向上に努める。
事業費(予算)の方向性	↗拡大	ICT機器や人件費等の高騰が想定される。	事業費の拡大を抑えながら効率的な事業実施に努める。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
518	学校運営費(小学校)	155,773	197,580	0	198,245				
539	学校運営費(中学校)	136,193	160,315	0	163,550				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	育み・学び	小分類	学校教育	重点施策	不登校児童生徒に対する支援				
所管部署	部	教育委員会			課	学校教育課		重点施策 No	26	目標	暮らし
施策概要	チャレンジ教室の開設を継続し、不登校児童生徒に対する支援を行います。また、校内教育支援センターを拡充し、登校できるものの在籍する学級に入れずに別室で過ごす児童生徒が不登校になることを未然防止するとともに、教室復帰を含め、利用する児童生徒の社会的自立を確保します。										
重点施策 のために行 う具体的 な事業の 内容	・校内教育支援センターの設置校の拡充										

Plan/Do/Check

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	校内教育支援センターの設置校数(校) ※R10年度:湖西中が岡崎中へ統合 ※R11年度:東小と知波田小の統合	目標値		8	全校(11)	全校(10)	全校(9)	全校(9)			
		実績値	3								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

KGI成果指標

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価		
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	
KGI①	学校の授業が「分かる」と答える児童・生徒の割合【教育委員会アンケート調査】(%)	目標値		小94.0% 中89.0%	小94.0% 中89.0%	小94.0% 中89.0%	小94.0% 中89.0%	小90.0% 中89.0%			
		実績値	小91.7% 中89.1%								
KGI②	学校に困ったことや悩み事などを相談できる先生がいる児童生徒の割合【教育委員会アンケート調査】(%) ※R7の中の実績値が外れ値の可能性があるので、目標値を据え置き(R6→7で4ポイント上昇、過去4年平均1.6)	目標値		小85.0% 中84.0%	小85.0% 中84.0%	小85.0% 中84.0%	小85.0% 中84.0%	小85.0% 中84.0%			
		実績値	小84.0% 中87.2%								

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	不登校対策について国や県の補助をもと、1/3を市が負担して実施している状況。不登校児童生徒数の増加に伴い、市の事業としてさらに拡充していく必要がある。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	現状、国や県の補助が2/3を占めている状況。不登校児童生徒数の増加に伴い、市の事業としてさらに拡充していく必要があるため、事業費削減の余地はないものとする。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	△拡大	不登校児童生徒の社会的自立を支援するために、チャレンジ教室や校内教育支援センターの拡充を進める必要がある。	各指導員の勤務時間の拡充や校内教育支援センター設置校の拡充を進めることで改善を図る。
事業費(予算)の方向性	△拡大	各指導員の勤務時間の拡充や校内教育支援センター設置校の拡充を進めるため事業費の増額が必要となる。	各指導員の勤務時間の拡充や校内教育支援センター設置校の拡充を進めることで改善を図る。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
673	個に応じた支援事業	0	90,269	0	90,269				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	育み・学び	小分類	学校教育	重点施策	部活動地域展開等の推進				
所管部署	部	教育委員会			課	学校教育課		重点施策 No	27	目標	暮らし
施策概要	部活動の地域展開を円滑に進めるため、地域展開コーディネーターの任用をはじめ、推進協議会の定期的な開催、そして地域クラブの運営支援を強化し、地域全体で地域クラブを支える体制を整備します。										
重点施策 のために行 う具体的 な事業の 内容	・地域展開コーディネーターの活用 ・推進協議会の開催 ・地域クラブ運営支援										

Plan/Do/Check

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	部活動の地域クラブ化へ向けた種目別打ち合わせ回数【R7:10種目、R8:7種目】(回/年) ※R10地域移行完了見込み	目標値		14	14	10	0	各種目年2回以上			
		実績値	25								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価
KGI①	地域クラブ数(クラブ) ※全10種目	目標値		3	4	10	10	10		
		実績値	0							
KGI②		目標値								
		実績値								

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	令和13年度までに部活動の地域展開を完了することを国が指針として示す中(休日)、湖西市では、令和10年度までに休日、平日を含めた地域展開を完了することを目標としている。地域展開の事業にあつては、国県が2/3を負担し、補助金を創出している。国としても関心の高い事業と言える。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	令和10年度の完全実施に向け、また、完全実施してからも安定した運営がそれぞれの地域クラブで行えるようになるまで、市としてサポートが必要であるとする。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	△拡大	既存の部活動を全て滞りなくR10年度に地域クラブ化する。その上で、R10年度以降にその他の種目についても地域クラブ化の方向性を考えていく。	R10年度9月を最終とし、それ以前に地域クラブ化できる種目については随時行っていく。
事業費(予算)の方向性	△拡大	R10年度の地域クラブ化に向けた取り組みとして部活動指導員の増員やできるクラブからR9年度内に地域クラブ化を行っていく必要があることから事業費の拡大が求められる。	部活動指導員の勤務予定を可能な限り把握し、予算案に反映する。また地域クラブ化される種目について、補助金額の連付けをしっかりとし、適正な金額を補助金とする。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
672	部活動地域展開等推進事業	0	8,256	0	8,256				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	育み・学び	小分類	文化	重点施策	文化芸術の発表と鑑賞の機会の提供				
所管部署	部	産業部			課	文化観光課		重点施策 No	28	目標	元気
施策概要	文化芸術の振興に向けて、文化協会への支援を強化し、市民芸術祭の開催を通じて地域の文化活動を盛り上げます。市民の文化活動への関心を高めるため、発表と鑑賞の機会を提供することで、市民の芸術への理解と参加を促進します。										
重点施策 のために行 う具体的 な事業の 内容	・市民芸術祭の開催 ・文化協会事業、後援名義事業等の文化芸術事業の観覧PR ・地域住民のためのコンサート開催 ・アーツカウンシル事業参加団体支援 ・各学校による文化芸術鑑賞機会の設定										

Plan/Do/Check

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	市民芸術祭の開催(回/年) ※令和7年度実績5回	目標値		5	5	5	5	5以上			
		実績値	5								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価
KGI①	直近1年間に文化・芸術に触れた人の割合【市民意識調査】(%)	目標値		49.9	50.3	50.7	51.0	51.0		
		実績値	49.5							
KGI②		目標値								
		実績値								

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	B	現在の市民活動による芸術文化の推進は、行政の関与無しに成り立たない。今後の芸術文化活動の推進の基礎として継続する必要がある。一方、支援の方法などについて見直す必要がある。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	現状の事業費で市民の芸術文化活動の基礎を保ちつつ、市費を抑えた形で芸術文化活動の推進を図る必要がある。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	↗拡大	民間主導(市費以外の助成や市の人的支援を踏まえた)による高いレベルの芸術文化に触れる機会の創設。	芸術文化活動に造詣のある市民や有識者による、小規模な講演や展覧会を支援する。
事業費(予算)の方向性	→維持	行政(市費)主導での事業では、以降の発展が見込まれないので多額の予算化ではなく人的支援が必要。一方で現在の基礎(素養)を保つ事業費は必要。	人的リソースをどれだけ投入できるかがKGI達成の鍵。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
601	芸術文化振興	5,229	5,279	0	5,300				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	育み・学び	小分類	文化	重点施策	文化財の保存と活用					
所管部署	部	産業部			課	文化観光課			重点施策 No	29	目標	元気
施策概要	新居閑跡の保存整備や、関所建物の耐震対策を行い、地域の貴重な文化財を次世代に継承するとともに、その価値を最大限に活用します。文化財を地域の宝として掘りおこすための調査を進め、文化財指定を積極的に行い、文化財のことを「知りたい」、「守りたい」という市民の思いを育みます。											
重点施策 のために行 う具体的 な事業の 内容	・文化財把握調査(掘り起こし) ・詳細調査(専門家による価値づけ) ・文化財保護審議会諮問 ・指定文化財保存のための修理助成 ・登録文化財制度の周知											

Plan/Do/Check

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	文化財保存修理件数(件/年)	目標値		1	1	1	1	1			
		実績値	0								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価		
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	
KGI①	指定文化財・登録文化財の数(件)	目標値		104	105	106	107	107			
		実績値	103								
KGI②		目標値									
		実績値									

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	文化財の保護保存は、行政が率先して実施することや、市民一人一人が文化財を大切に思う気持ちを持つように啓発することが必要。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	デジタルアーカイブの活用により、費用の縮減を図るが、最低限の保存費用は必要。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	必要かつ効果的な保存整備を継続する必要がある。	復元整備に頼るのではなく活用による副次的な効果も踏まえた事業展開を検討。
事業費(予算)の方向性	→維持	最低限の保存費用を計上しており、効果的な保存が図られている。	復元整備など増大を抑え、デジタルアーカイブなどの活用を検討する。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
606	文化財保護保存	7,317	4,101	0	4,160				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	育み・学び	小分類	スポーツ・生涯学習	重点施策	多様化するライフステージに応じたスポーツ活動の推進				
所管部署	部	教育委員会			課	スポーツ・生涯学習課		重点施策 No	30	目標	元気
施策概要	誰もがスポーツを気軽にできるよう、スポーツ教室や出前講座を実施し、スポーツを始めるきっかけや場を提供します。										
重点施策 のために 行う 具体的 な 事業 の 内 容	・各種スポーツ体験イベントや出前講座の実施										

Plan/Do/Check

KPI活動指標

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

	活動指標(単位)	実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
			R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	ニュースポーツ体験会や出前講座、イベント出展等による啓発活動(回/年)	目標値		30	31	32	33	32			
		実績値	29								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標

	成果指標(単位)	実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
			R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価
KGI①	週に1回以上スポーツを行った人の割合【市民意識調査】(%)	目標値		43.0	48.0	54.0	60.0	60.0		
		実績値	38.0							
KGI②		目標値								
		実績値								

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	スポーツの普及については、スポーツに興味をもっていない市民も含め利益を求めず幅広く普及を図っていく必要があるため、市が関与する必要がある。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	事業費の大部分が普及活動を実施するスポーツ推進委員の活動費となっており、効率的・効果的な実施方法を検討していくが、削減が実施回数の削減に繋がってしまうため難しい。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	活動の方向性は維持しつつ、周知方法や効果的・効率的な運営等を検討し事業の効果的な実施を目指す。	周知方法や運営方法の改善を図り参加者増を目指す。
事業費(予算)の方向性	↗拡大	活動の中心を担っているスポーツ推進委員の人数が定員に近い人数となっているが、推進委員が携わるイベント等は増えているため。	委員の高齢化の課題があるため改善を図っていく。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
634	社会体育振興事業	7,644	8,033	0	8,050				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	育み・学び	小分類	スポーツ・生涯学習	重点施策	豊かなスポーツライフを支える環境づくり				
所管部署	部	教育委員会			課	スポーツ・生涯学習課		重点施策 No	31	目標	元気
施策概要	誰もがスポーツを気軽にできるよう、体育施設の維持管理を適切に実施し、市民が体育施設を身近な施設として感じられるよう市のスポーツイベントなどで積極的に利用します。										
重点施策 のために行 う具体的 な事業の 内容	体育施設の維持管理を適切に実施し、市民が体育施設を身近な施設として感じられるよう市のスポーツイベントなどで積極的に利用する。										

Plan/Do/Check

KPI活動指標

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

活動指標(単位)		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11	達成度		達成状況評価	今後の方針	
KPI①	体育施設を利用した市のスポーツイベントの実施回数(回/年)	目標値		24	24	25	25	25			
		実績値	23								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
	成果指標(単位)	R7(参考)	R8	R9	R10	R11	達成度		達成状況評価	
KGI①	体育施設の利用者数(人/年)	目標値		540,255	559,705	579,854	600,000	600,000		
		実績値	521,482							
KGI②		目標値								
		実績値								

Check

項目	評価	評価コメント
<必要性> 行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	スポーツ振興や公共性のために、市民が快適かつ安全、また安価な利用料で使用できる体育施設を市として提供する必要があるため。
<有効性> 成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性> 事業費削減の余地	A	施設の老朽化が目立つため、安全かつ快適な利用にあたり事業費の削減は難しい。ただし、大規模な修繕や改修を検討する段階では、統廃合も選択肢として検討する。

Action

判定	判定コメント	改善点や今後の予定
→維持	老朽化の目立つ施設の適切な維持管理は必要ため、大規模改修を見据えつつ日々の維持管理を実施していく。	主要な施設の大規模改修計画を予定していく。
↗拡大	大規模改修を実施おらず老朽化が目立っているため、事業費は拡大していく予定。	長期的な視点で改修計画を作成し、効率的な維持管理が必要。

【参考】事業費の推移(事業2単位)

		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
635	社会体育施設維持管理事業	243,405	223,600	0	245,000				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	育み・学び	小分類	スポーツ・生涯学習	重点施策	多世代が利用できる講座の企画				
所管部署	部	教育委員会			課	スポーツ・生涯学習課		重点施策 No	32	目標	元気
施策概要	人生をより豊かなものにするため、生涯を通じて楽しめる趣味や教養が身につくよう、多様なニーズに応えるべく講座の企画や情報発信をしていきます。										
重点施策 のために行 う具体的な 事業の 内容	・幅広い年齢層に対応すべく、多種多様なジャンルの講座の企画										

Plan/Do/Check

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	講座開催数(講座/年) ※R5～R7(3年平均):28件/年	目標値		30	30	30	30	30以上			
		実績値	42								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価		
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	
KGI①	生涯学習講座参加者数(人/年) ※R5～R7(3年平均):1,032人/年	目標値		1,100	1,100	1,100	1,100	1,100			
		実績値	1,229								
KGI②		目標値									
		実績値									

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	民間の講座は受講料も高く、採算のとれない講座は開催されないが、市の講座は授業料も安く、幅広いジャンルを企画できるため、受講の機会を提供することができる。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	事業費はそのまま講師料のため、事業費を削減することは事業の削減に繋がり、目標値を達成することへの妨げになるため削減は難しい。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	受講者数が見込める講座とともに民間では開催されないような新規講座を企画する。	前期、後期の講座に加え、単発的な講座の中に新規講座を企画しニーズを探っていく。
事業費(予算)の方向性	→維持	講座の開催数の増加は講師料の増加となるが、開始数が著しく増加することは見込めない。	講座の開始日や時間帯等、受講者の幅広い年齢層に対応した講座を企画する。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
583	西部地域センター管理運営事業	11,302	11,824	0	11,900				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	育み・学び	小分類	スポーツ・生涯学習	重点施策	図書館利用の普及とPR				
所管部署	部	教育委員会			課	図書館		重点施策 No	33	目標	暮らし
施策概要	図書館業務の内容、サービス、イベント等の情報発信をSNSを活用して定期的に行い、図書館利用の促進を図ります。										
重点施策 のために行 う具体的な 事業の 内容	・図書館業務の内容、サービス、イベント等の情報発信を「X」や「LINE」を活用して定期的に行い、利用者増加の促進を行う。										

Plan/Do/Check

KPI活動指標

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

活動指標(単位)		実績の推移					別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	SNSを利用した広報(情報発信)の 回数(回/年)	目標値	100	100	100	100	100			
		実績値	88							
KPI②		目標値								
		実績値								
KPI③		目標値								
		実績値								
KPI④		目標値								
		実績値								
KPI⑤		目標値								
		実績値								
更新時利用 KPI'		目標値								
		実績値								

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標

成果指標(単位)		実績の推移					別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価
KGI①	市民一人当たりの貸出冊数(冊/年)	目標値	5.3	5.3	5.3	5.4	5.4		
		実績値	4.8						
KGI②		目標値							
		実績値							

Check

項目	評価	評価コメント
<必要性> 行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	読書活動の楽しさや必要性などの理解を広め、図書館利用を促進するためには図書館による情報発信が必要。
<有効性> 成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性> 事業費削減の余地	A	効率的な事業実施をしており、削減の余地はない。

Action

判定	判定コメント	改善点や今後の予定
→維持	図書館の事業内容やイベント等を積極的に発信することで利用者の興味・関心を引くことができ、図書館の利用促進につながる。	若年層に向けてInstagramでの発信を強化していく。
→維持	引き続き情報発信するためには予算維持が必要。	既存のツールを利用して情報発信回数を増やす手段を検討する。

【参考】事業費の推移(事業2単位)

		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
628	図書館活動推進事業	1,106	1,074	0	1,074				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	健康福祉	小分類	医療	重点施策	高齢化に伴う医療需要に対する湖西病院の診療体制強化				
所管部署	部	湖西病院			課	管理課		重点施策 No	34	目標	暮らし
施策概要	特定の専門診療に限らず、多くの高齢者が関わる慢性疾患や複数の健康問題に対し、疾患分類にとらわれず患者の全体像を考慮した総合的な医療提供の体制確立を目指します。										
重点施策 のために行 う具体的な 事業の内 容	・訪問診療・往診体制の拡充 ・専攻医研修プログラムの確立										

Plan/Do/Check

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	総合診療専門研修施設のプロ グラムの登録(件)	目標値		1	1	1	1	1			
		実績値	0								
KPI②	総合診療専門指導医資格を持つ医 師数(人)	目標値		7	7	8	8	-			
		実績値	7								
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価
KGI①	湖西病院の総合診療専攻医受入 人数【4年累計：R8～R11】(人)	目標値		0	1	2	3	3		
		実績値	0							
KGI②		目標値								
		実績値								

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	総合診療医を柱の一つとして位置付けし、「湖西版コミュニティ・ホスピタル」を目指すため、総合診療 医の専攻医の受入れや指導医の育成を進める必要があるため。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	事業費維持が必須で削減の余地はない。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	総合診療専攻医の受入れ数を増やし、地域医療を担う医師を 育成・確保することにより、持続可能な医療提供体制の構築す る。	総合診療医専攻医の受入れ準備・募集の継続実施。
事業費(予算)の方向性	↗拡大	人件費等の増加(専攻医は常勤医師)が見込まれる。	指導体制や研修環境の充実を図り、他連携施設との関係を 強化し、総合診療専攻医の受入れ数の拡大につなげる。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
病院会計	病院会計	3,508,909	3,829,583	0	3,807,150				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	健康福祉	小分類	医療	重点施策	産前産後ケア体制維持					
所管部署	部	湖西病院			課	医事課			重点施策 No	35	目標	暮らし
施策概要	出産に関わる医療従事者不足に対し、浜松医療センターと連携強化を進め、出産は浜松医療センター、産前産後診療と産後ケアは市立湖西病院が担うよう機能分化し、出産全体に対し包括的に対応出来る体制を維持します。 産前産後の医療提供体制に加え、浜松医療センターから定期的に助産師派遣を依頼し、産前産後ケア体制を維持していきます。											
重点施策 のために行 う具体的な 事業の 内容	・診療枠の拡大(午後の診療等)を検討 ・利便性を良くするため、母と子の1カ月健診を併せて行うことを検討											

Plan/Do/Check

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標

	活動指標(単位)	実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
			R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	助産師外来予約枠(枠/月)	目標値		30	30	30	30	30			
		実績値	26								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標

	成果指標(単位)	実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価		
			R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	
KGI①	湖西病院の助産師外来延患者数【湖西市集計】(人/年) ※R5～R7(3年平均):155件/年	目標値		180以上	180以上	180以上	180以上	180			
		実績値	188								
KGI②		目標値									
		実績値									

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	市内に妊産婦の産前・産後ケアを実施する医療機関がなく、住民の利便性維持のため継続する。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	事業継続から事業費維持が必要で、削減の余地は無い。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	KPIに対し、KGIが大きく上回る状況。	今後の実績推移から活動指標を再評価する。
事業費(予算)の方向性	→維持	事業規模の継続から事業費を当面維持する。	今後の実績推移から活動指標を再評価する。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
病院会計	病院会計	3,508,909	3,829,583	0	3,807,150				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	健康福祉	小分類	健康	重点施策	若い年齢層への健康づくりの推進				
所管部署	部	健康福祉部			課	健康増進課		重点施策 No	36	目標	暮らし
施策概要	学校や職域などの関係機関と連携しながら、若い年齢層や働き盛り世代へ、健康的な生活を送るための、知識や技術を周知します。 30歳代に対しての健診を継続して実施します。										
重点施策 のために行 う具体的な 事業の内 容	・健康教室の実施 ・企業や事業所における健康づくりの支援 ・30歳代の健診の実施（健康ミニチェック、U-39健診）										

Plan/Do/Check

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	健康教育実施数【40歳～64歳】 【4年累計：R8～R11】(回)	目標値		34	68	102	136	136以上			
		実績値	31								
KPI②	健康教育参加者数(人/年)	目標値		1,650	1,650	1,650	1,650	－			
		実績値	1,636								
KPI③	U-39・健康ミニチェック受診者数 (人/年)	目標値		105	108	110	112	－			
		実績値	104								
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価		
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	
KGI①	特定健診における糖尿病予備群及 び糖尿病の割合(%)	目標値		65.0	63.5	62.0	60.0	60.0以下			
		実績値	67.2								
KGI②	U-39健診受診率(%)	目標値		16.0	16.5	17.0	17.5	－			
		実績値	15.3								

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	若い世代への健康づくりは、将来的な生活習慣病予防や医療費適正化につながる重要な取組であり、学校や事業所等との連携を含め、市が主体となって継続的に実施する必要がある。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	事業は職員が実施している。よって、健診以外の経費はほとんどかかっていないため。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	若い世代や働き盛り世代への健康づくりは引き続き重要であり、事業は継続する。実施方法や周知方法を工夫し、参加者の増加と生活習慣病予防につながる取組を強化する。	30歳代健診の受診勧奨を強化し、健診受診率及び健康教育参加者の増加を図る。
事業費(予算)の方向性	→維持	現在の事業規模を維持し、既存事業を効率的に実施していく。	若い世代への周知方法を見直し、参加率及び健診受診率の向上を図る。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
263	疾病対策事業	121,830	141,986	0	148,000				
779	特定健康診査等事業費	31,058	40,294	0	40,294				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	健康福祉	小分類	健康	重点施策	生活習慣病重症化予防の取り組み強化				
所管部署	部	健康福祉部			課	健康増進課		重点施策 No	37	目標	暮らし
施策概要	生活習慣病の重症化を予防するため、健診の受診率向上に努めるとともに、専門医、かかりつけ医、薬局、行政が連携した健康を守る取り組みを強化していきます。										
重点施策 のために行 う具体的 な事業の 内容	・糖尿病性腎症重症化予防プログラムの推進										

Plan/Do/Check

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標

活動指標(単位)		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11			達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	糖尿病性腎症重症化予防プログラム検討会実施回数【4年累計：R8～R11】(回)	目標値	2	4	6	8	8以上				
		実績値	4								
KPI②	特定保健指導・重症化予防保健指導者数【実人数】(人/年)	目標値	160	165	170	175	-				
		実績値	152								
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標

成果指標(単位)		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価		
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11			達成度	達成状況評価	
KGI①	新規透析導入患者数(人/年)	目標値	13	13	12	12	4年平均 13以下				
		実績値	14								
KGI②		目標値									
		実績値									

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	生活習慣病の重症化予防は健康寿命や医療費の抑制につながるため、市・医療機関・関係機関が連携して継続的に取り組む必要がある。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	医療機関との連携により効率的に事業を実施しており、現時点で事業費削減の余地は小さい。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	医療機関との連携を継続し、保健指導の質と実施率を高めることで、生活習慣病の重症化予防を推進する。	保健指導対象者への受診勧奨や継続支援の充実を図るとともに、事業効果を検証しながら効率的な事業運営に努める。
事業費(予算)の方向性	→維持	現行の事業を継続し、重症化予防の取組を着実に推進する。	糖尿病性腎症重症化予防プログラム検討会を定期的に開催し、プログラムの充実を図る。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
779	特定健康診査等事業費	31,058	40,294	0	40,294				
263	疾病対策事業	121,830	141,986	0	148,000				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	健康福祉	小分類	高齢者福祉	重点施策	介護予防の推進				
所管部署	部	健康福祉部			課	高齢者福祉課		重点施策 No	38	目標	暮らし
施策概要	年間を通じて社会参加を意識し、「社会参加の促進」「フレイル予防」「認知症の予防」の3つの介護予防を柱として元気な高齢者を増やすための事業を展開します。										
重点施策 のために行 う具体的 な事業の 内容	・「社会参加の促進」「フレイル予防」「認知症の予防」を柱とした各種介護予防教室（運動・認知症予防・栄養）の実施										

Plan/Do/Check

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標

	活動指標(単位)	実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
			R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	介護予防教室実施回数【はつらつセンター、老人福祉センターなど】(回/年)	目標値		1,090	1,090	1,090	1,090	600			
		実績値	1,059								
KPI②	いきいきサロン参加者数【高齢者延数】(人/年)	目標値		6,500	6,600	6,700	6,800	-			
		実績値	6,300								
KPI③	健康体操参加者数【高齢者延数】(人/年)	目標値		4,500	4,600	4,700	4,800	-			
		実績値	4,019								
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標

	成果指標(単位)	実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
			R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価
KGI①	お達者年齢【静岡県公表資料】(歳)	目標値		男性81.7 女性86.6	男性81.8 女性86.7	男性81.9 女性86.8	男性82.0 女性87.0	男性82.0 女性87.0		
		実績値	男性81.6 女性86.5							
KGI②		目標値								
		実績値								

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	介護予防サービスの受け皿として機能しており、インフォーマルサービスと両輪で行政が実施していく必要がある。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	介護予防サービスの受け皿として、事業の質を維持しながら効果的に運営しており、事業費は適正で削減の余地ははい。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	△拡大	高齢者数が増加していく中で、元気で、地域社会の中で自立して生活できる高齢者を増やしていくために、介護予防事業の必要性は今後も増していくため。	介護予防教室だけでなく、地域の通いの場・介護予防サービスと連続した事業となるような制度設計を検討する。
事業費(予算)の方向性	→維持	教室の実施回数だけでなく、質にもこだわって内容等を検討することで現状予算の維持に努める。	人件費や委託料は増加傾向にあるため、全体のバランスを考慮して、実施回数・内容を検討する。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
812	はつらつセンター開放事業	146	252	0	252				
815	地域介護予防活動支援事業	6,184	7,098	0	7,098				
819	老人福祉センター事業	70	70	0	70				
847	介護予防普及啓発事業費	7,068	8,633	0	8,633				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	健康福祉	小分類	高齢者福祉	重点施策	認知症施策の充実				
所管部署	部	健康福祉部			課	高齢者福祉課		重点施策 No	39	目標	暮らし
施策概要	認知症予防のほか、認知症になっても誰もが自分らしい暮らしを実現するために、家族介護者への支援や認知症に対する正しい理解の普及啓発を行うことで、総合的に認知症施策を推進します。										
重点施策 のために 行う 具体的な 事業の 内容	認知症に関する適切な知識をもち、地域等で認知症の方やその家族を支える人（サポーター）を要請する講座等を実施する。										

Plan/Do/Check

KPI活動指標

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

	活動指標(単位)		実績の推移					別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
			R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座実施回数(回/年) ※R4～R6(3年平均):7回	目標値		7回以上	7回以上	7回以上	7回以上	7回以上			
		実績値	10								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

KGI成果指標

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

	成果指標(単位)		実績の推移					別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
			R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価
KGI①	認知症サポーター累計人数(人)	目標値		7,200	7,700	8,200	8,700	7,000		
		実績値	6,659							
KGI②		目標値								
		実績値								

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	認知症施策は、国・地方公共団体が取り組むべき重要課題であると位置づけられている。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	事業の質を維持しながら効果的に運営しており、事業費は適正で、削減の余地はない。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	△拡大	国によって示された「新しい認知症観」に基づき、当事者の声を踏まえた施策を推進していく必要がある。	第10期高齢者プランの策定に合わせ、認知症対策推進計画を位置づけ、「新しい認知症観」に基づき、認知症対策を推進していく。
事業費(予算)の方向性	→維持	講座の実施回数だけでなく、質にもこだわって内容等を検討することで現状予算の維持に努める。	「新しい認知症観」の理解促進のため、講座内容等を検討する。対象者を市内小学生にも拡大していく。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
826	認知症対策	138	190	0	190				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	健康福祉	小分類	障害者福祉・地域福祉	重点施策	障害者一人ひとりの特性に応じた就労の促進				
所管部署	部	健康福祉部			課	地域福祉課		重点施策 No	40	目標	暮らし
施策概要	その人らしさを発揮できる場へのつなぎとして、「障害者＝単純労働」という固定観念を打破し、それぞれの障害者が持つ優位性の理解を促進します。また、特性を考慮した個別的就労形態に対応し、その人に適した働き方を提供するほか、相談支援従事者のアセスメント力を向上させ、障害者の特性を見出し、見える化することで、より適切な支援を行います。										
重点施策 のために 行う 具体的な 事業の 内 容	・アセスメント向上を目的とした勉強会 ⇒既存の就労継続支援事業所が就労選択支援事業を開始 ・就労した障害者の就労継続(定着)支援を目的とした勉強会 ⇒特性に応じた就労										

Plan/Do/Check

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標

活動指標(単位)		実績の推移					別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	アセスメント向上勉強会【サービス事業所向け】【4年累計：R8～R11】(回)	目標値	2 (年2)	4 (年2)	6 (年2)	8 (年2)	8以上			
		実績値	0							
KPI②	障害者雇用定着支援勉強会【4年累計：R8～R11】(回)	目標値	1 (年1)	2 (年1)	3 (年1)	4 (年1)	4			
		実績値	0							
KPI③	アセスメント事例検討会【4年累計：R8～R11】(回)	目標値	1 (年1)	2 (年1)	3 (年1)	4 (年1)	4			
		実績値	0							
KPI④		目標値								
		実績値								
KPI⑤		目標値								
		実績値								
更新時利用 KPI'		目標値								
		実績値								

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標

成果指標(単位)		実績の推移					別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価
KGI①	就労選択支援事業所数(事業所)	目標値	0	0	1	1	1		
		実績値	0						
KGI②		目標値							
		実績値							

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	行政が中心となって勉強会等を実施することで事業所の質の向上につながる
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	B	就労支援事業所のアセスメント能力や支援力の向上を図ることで、本人の能力や特性に応じた適切なサービス利用や一般就労への移行・定着を促進できれば障害福祉サービス給付費の伸びの抑制につながる

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	障害者支援協議会の就労部会で障害者相談支援センター職員と連携をし就労継続支援事業所を対象としたアセスメントシートを作成するための勉強会を実施	基幹相談センター、相談支援センターと協力し就労継続支援事業所のアセスメント力の向上を今後も図る。また、相談支援事業所とも連携をして事例検討会を実施。
事業費(予算)の方向性	↗拡大	サービス利用者数の増加に伴い給付費の増加が見込まれる。	就労継続支援事業所のアセスメント能の向上や適切な就労支援により給付費の伸びの抑制を目指す。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
185	介護・訓練等給付費	1,042,822	988,860	0	1,054,196				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	健康福祉	小分類	障害者福祉・地域福祉	重点施策	障害者の雇用の確保と拡大				
所管部署	部	健康福祉部			課	地域福祉課		重点施策 No	41	目標	暮らし
施策概要	市内企業と就労継続支援事業所とのマッチングを進め、施設外就労や一般就労の拡大を図ります。 就労支援事業所の販路開拓や商品開発を促進します。										
重点施策 のために行 う具体的な 事業の内 容	・企業と就労支援事業所の顔つなぎの支援 ・就労支援事業所の販路の拡大と販売商品の開発										

Plan/Do/Check

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標

	活動指標(単位)	実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11	達成度		達成状況評価	今後の方針	
KPI①	就労支援事業所見学ツアー【4年累計：R8～R11】(回)	目標値	1 (年1)	2 (年1)	3 (年1)	4 (年1)	4				
		実績値	1								
KPI②	商品開発企画会議【商工会、産業振興課、地域福祉課】【4年累計：R8～R11】(回)	目標値	1 (年1)	2 (年1)	3 (年1)	4 (年1)	4				
		実績値	0								
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標

	成果指標(単位)	実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11	達成度		達成状況評価	
KGI①	販路の開拓や商品開発、仕事の創出ができた就労支援事業所数【湖西市集計】(事業所)	目標値		0	0	1	2	2		
		実績値	0							
KGI②		目標値								
		実績値								

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	行政が企業と就労支援事業所をつなぐコーディネート機能を担い、企業開拓や商品開発等の実施主体は関係機関や事業所とすることで、効率的な事業運営を図ることができる。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	B	商工会やハローワーク、関係課との連携を強化し既存のネットワークを活用することで事業費の抑制が可能となる。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	商工会や関係機関との連携をすすめることで就労支援事業所と企業が主体的に実施できる仕組みづくりをつくる。	見学ツアーについては、費用対効果や参加企業数を検証し関係機関との役割分担や実施方法の見直しを図る
事業費(予算)の方向性	↗拡大	サービス利用者数の増加に伴い給付費の増加が見込まれる。	行政主体の事業を見直し関係機関との役割分担や既存の事業の活用を進める。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
185	介護・訓練等給付費	1,042,822	988,860	0	1,054,196				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	健康福祉	小分類	障害者福祉・地域福祉	重点施策	相談支援・情報提供体制の整備					
所管部署	部	健康福祉部			課	地域福祉課			重点施策 No	42	目標	暮らし
施策概要	基幹相談支援センターを設置し、地域における相談支援体制の強化を図ります。また、相談支援事業者や福祉サービス事業者に対して、支援計画に関する指導・助言を行い、質の高い支援を提供できるようサポートします。 相談支援事業者や福祉サービス事業者を対象に、研修会や事例検討会を企画・運営し、実務に役立つ知識やスキルの向上を促進します。											
重点施策 のために行 う具体的 な事業の 内容	・基幹相談支援センターの業務 ①相談支援事業所の相談支援 ②相談支援事業所への研修 ③相談支援事業所からの人材の受入れ ④地域の相談機関との連携強化 ⇒地域の相談支援力の向上 ・相談支援事業所の相互援助関係の構築 ⇒地域の相談支援力の向上											

Plan/Do/Check

KPI活動指標

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

活動指標(単位)		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11			達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	基幹相談支援センターの設置(ヶ所)	目標値	1	1	1	1	1				
		実績値	0								
KPI②	研修会又は事例検討会【4年累計: R8～R11】(回)	目標値	0	1 (年1)	2 (年1)	3 (年1)	3				
		実績値	0								
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標

成果指標(単位)		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11			達成度	達成状況評価
KGI①	相談支援の質が向上したと感ずる計画相談支援事業所の割合【湖西市集計】(%)	目標値	50.0	70.0	90.0	100	100			
		実績値	-							
KGI②		目標値								
		実績値								

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	基幹相談支援センターは地域ネットワークの構築を担う中核機関であり、行政が主体的に関与する必要がある。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	地域の相談支援体制を維持するために必要な経費であり大幅な削減は相談機能の低下につながる。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	△拡大	相談支援員の育成や困難事例への対応力を強化することで地域全体の相談の質の向上を図る必要があるため	基幹相談支援センターと行政、相談支援事業所等関係機関との連携を強化する。
事業費(予算)の方向性	△拡大	基幹相談支援センターが年間通じた運営となることから増加する見込みである。	基幹相談支援センターの運営に必要な経費を確保する。

【参考】事業費の推移(事業2単位)

		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
713	地域生活支援関係経費	35,949	50,356	0	59,798				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	健康福祉	小分類	障害者福祉・地域福祉	重点施策	包括的相談支援体制の整備				
所管部署	部	健康福祉部			課	地域福祉課		重点施策 No	43	目標	暮らし
施策概要	関係機関で連携を取りながら、属性や世代、相談内容にかかわらず、相談から支援まで包括的に対応できる体制の構築に向けて取り組みます。										
重点施策 のために行 う具体的な 事業の内 容	・医療福祉司法なんでもかんでも相談会開催と伴走支援										

Plan/Do/Check

KPI活動指標

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

活動指標(単位)		実績の推移					別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	なんでもかんでも相談会の相談受付 枠【4年累計：R8～R11】(枠)	目標値	8 (年8)	16 (年8)	28 (年12)	40 (年12)	40			
		実績値	9							
KPI②		目標値								
		実績値								
KPI③		目標値								
		実績値								
KPI④		目標値								
		実績値								
KPI⑤		目標値								
		実績値								
更新時利用 KPI'		目標値								
		実績値								

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標

成果指標(単位)		実績の推移					別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価
KGI①	相談会後に状況が改善・支援者につ ながった割合【湖西市集計】(%)	目標値	100	100	100	100	100		
		実績値	100						
KGI②		目標値							
		実績値							

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	多機関のネットワーク構築には、行政関与が必要。専門職のソーシャルワーク機能の向上や、地域課題の把握にも寄与する事業である。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	相談会及び伴走支援に携わる専門職の人件費であり、削減の余地はない。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	より効果的な実施方法確立に向けて試行段階。	現状の年2回開催では、状況が逼迫した相談者にとって使い勝手が悪いため、R10年度から相談会の回数を増やす予定。
事業費(予算)の方向性	↗拡大	相談会後の伴走支援に係る人件費を増額見込み。	伴走支援が長期間に渡るケースへの対応について検討が必要。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
126	社会福祉事務事業	63,450	85,784	0	86,280				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	くらし環境	小分類	公共交通	重点施策	利便性、効率性の高い公共交通ネットワークの形成(拡充)				
所管部署	部	都市整備部			課	都市計画課		重点施策 No	44	目標	暮らし
施策概要	デマンド型乗合タクシー「コーちゃんタクシー」においては、サービス拡充を図るとともに、利用啓発を継続し、新規登録者及び利用者の増加を図り、また「コーちゃんバス」においては、移動ニーズが集中する区間や時間帯に集約化を進めます。コーちゃんバスとコーちゃんタクシーを組み合わせることで、利便性及び効率性の高い公共交通ネットワークを形成します。										
重点施策 のために行 う具体的 な事業の 内容	・コーちゃんバスの効率化 ・コーちゃんタクシーの制度改正 ・企業シャトルBaaSの周知・利用啓発										

Plan/Do/Check

KPI活動指標

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

活動指標(単位)		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11			達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	コーちゃんタクシー利用者数(人/年)	目標値		25,000	26,000	27,000	28,000	28,000			
		実績値	19,884								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

KGI成果指標

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

成果指標(単位)		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11			達成度	達成状況評価
KGI①	公共交通分担率【市民意識調査】 (%)	目標値		7.0	7.3	7.7	8.0	8.0		
		実績値	6.3							
KGI②	公共交通機関の満足度【市民意識調査】 (%)	目標値		40.0	43.5	47.0	50.0	50.0		
		実績値	31.1							

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	通勤、通学、通院や買い物など市民の移動手段を確保するため、行政としてコミュニティバスやデマンド型乗合タクシーの運行は必要である。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	B	デマンド型乗合タクシーのサービス拡充の実装に伴い、コミュニティバスの路線・本数を見直し、公共交通全体での利便性向上と運行の効率化を図る。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	市民の移動手段を確保するため、公共交通の提供が必要である。	デマンド型乗合タクシーの利用者が増加する中で、移動需要を分析し、バスの運行体制を見直していく。
事業費(予算)の方向性	→維持	負担金や委託料単価の上昇は不可避であるが、コミュニティバスの見直し等により、経費抑制を図る。	デマンド型乗合タクシーのサービス拡充の実装に伴い、コミュニティバスの運行体制について見直しを行い、公共交通全体としての経費を抑制する必要がある。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
40	地域公共交通対策事業	137,886	150,331	0	150,331				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	くらし環境	小分類	都市インフラ	重点施策	上下水道施設の最適化・強靱化				
所管部署	部	環境部			課	上下水道課		重点施策 No	45	目標	暮らし
施策概要	将来の水需要を予測し、水道施設の効率性を高めるため、既存施設の統廃合を進めるとともに、水道施設の耐震化を進めます。										
重点施策 のために行 う具体的な 事業の内 容	新水道ビジョンにおける水道施設の強靱化を行うと共に、施設再編に基づき管理対象施設数を減少させることで必要経費を削減し、経常収支比率の向上を図る。										

Plan/Do/Check

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標

	活動指標(単位)	実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
			R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	管理対象施設(施設) 上水道	目標値		14	14	14	13	13			
		実績値	14								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標

	成果指標(単位)	実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
			R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価
KGI①	水道事業の経常収支比率(%) ※安定的な経営のため目標値は 110%の維持とする。 ※R5～R7(3年平均):110.95%	目標値		110.0	110.0	110.0	110.0	110以上		
		実績値	111.5							
KGI②		目標値								
		実績値								

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	生活を支えるライフラインとして不可欠であり、安定性、公平性の観点からも行政が運営していく必要がある。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	B	施設の最適化や管理施設を減少させることで、事業費削減の余地はある。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	上下水道事業の健全な運営を維持していくためには、現在の体制を維持していく必要がある。	水道施設維持管理の外部委託の検討や、水道スマートメーター設置、衛星画像とAIを活用した漏水調査などのDX化を推進する。
事業費(予算)の方向性	→維持	現在の予算規模を維持しつつ、必要に応じて調整していく。	余裕資金の積極的な運用を検討する。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
上水	水道事業費用	1,122,315	1,171,951	0	1,182,169				
下水	下水道事業費用	1,238,368	1,244,130	0	1,217,202				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	くらし環境	小分類	都市インフラ	重点施策	公共下水道の整備				
所管部署	部	環境部			課	上下水道課		重点施策 No	46	目標	暮らし
施策概要	限られた財源の中でより効率的な公共下水道の整備を計画的に進めます。										
重点施策 のために 行う 具体的な 事業の 内容	・下水道整備面積の拡張により、下水道接続済戸数の増加に伴う下水道使用料収入の増額を図り、経常収支比率の向上を図る。										

Plan/Do/Check

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標

活動指標(単位)		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
			R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	下水道整備面積累計(ha)	目標値		631.3	647.3	663.3	679.3	679.3			
		実績値	598.0								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標

成果指標(単位)		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
			R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価
KGI①	公共下水道事業の経常収支比率 (%)	目標値		100	100	100	100	100以上		
		実績値	97.2							
KGI②		目標値								
		実績値								

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	生活を支えるライフラインとして不可欠であり、安定性、公平性の観点からも行政が運営していく必要がある。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	B	整備区域の見直しを検討している。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	事業計画に沿って進めていく必要がある。	早期に計画を達成できるように進めていく。
事業費(予算)の方向性	↗拡大	物価や人件費の上昇に伴い、今後増加が見込まれる。	適正価格での発注に努める。また、工事業者の繁忙期を避けるように発注時期を検討する。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
下水	資本的支出	1,743,265	1,355,369	215,760	1,331,552				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	くらし環境	小分類	都市インフラ	重点施策	市街地における都市計画道路未整備区間の整備				
所管部署	部	都市整備部			課	土木課		重点施策 No	47	目標	元気
施策概要	市街地を南北に縦断し沿線に商業施設が立地する(都)鷺津駅谷上線では、自動車走行の円滑化と歩行者の安全を図るため整備を進めます。 (都)表鷺津漁港線では、「子どもの移動経路に関する交通安全プログラム」に基づき車道幅員の拡幅及び両側歩道の整備を進めます。										
重点施策 のために行 う具体的な 事業の内 容	・鷺津駅谷上線整備事業 ・表鷺津漁港線整備事業 ・大倉戸茶屋松線整備事業 ・浜松湖西豊橋道路関連事業										

Plan/Do/Check

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	都市計画道路の整備延長(m) No.47:①鷺津駅谷上線 ②表鷺津漁港線 No.48:③大倉戸茶屋松線 ④浜松湖西豊橋道路	目標値		42,696 (133)	42,776 (80)	42,846 (70)	42,941 (95)	42,941 (①～④)			
		実績値	42,563 (82)								
KPI②	整備延長(m) ①鷺津駅谷上線 L=430m 【事業累計:430m】	目標値		215 (133)	295 (80)	365 (70)	430 (65)	-			
		実績値	82 (82)								
KPI③	整備延長(m) ②表鷺津漁港線 L=160m 【事業累計:30m】	目標値		0	0	0	30 (30)	-			
		実績値	0								
KPI④	<参考>重点施策 No.48 整備延長(m) ③大倉戸茶屋松線 L=1663m 【事業累計:0m】	目標値		0	0	0	0	-			
		実績値	0								
KPI⑤	<参考>重点施策 No.48 整備延長(m) ④浜松湖西豊橋道路 L=5,950m 【事業累計:0m】	目標値		0	0	0	0	-			
		実績値	0								
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価
KGI①	道路の整備状況についての満足度 【市民意識調査】(%) ※No.47,48を一体としてKGI進捗管理	目標値		48.0	50.0	52.0	55.0	55.0		
		実績値	46.7							
KGI②		目標値								
		実績値								

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	道路の拡幅・歩道整備などのインフラ整備は、行政にしか担えない役割であるため。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	B	国の交付金を活用していく。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	継続し事業を推進する。	継続し事業を推進する。
事業費(予算)の方向性	↗拡大	事業が本格化していくため拡大。	国の交付金を活用し道路整備を行っていく。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
715	鷺津駅谷上線整備事業	202,975	344,115	0	95,000				
718	表鷺津漁港線整備事業	0	148,400	5,900	100,000				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	くらし環境	小分類	都市インフラ	重点施策	物流の効率化を図る幹線道路の整備推進				
所管部署	部	都市整備部			課	都市計画課		重点施策 No	48	目標	元気
施策概要	(都)大倉戸茶屋松線(バッテリーロード)の未整備区間について、県と協力して整備に取り組みます。また、浜松湖西豊橋道路の事業着手に向けた取り組みを進めるとともに、ICアクセス道路を含む市内の道路ネットワークの形成に取り組みます。										
重点施策 のために行 う具体的な 事業の内 容	・鷺津駅谷上線整備事業 ・表鷺津漁港線整備事業 ・大倉戸茶屋松線整備事業 ・浜松湖西豊橋道路関連事業										

Plan/Do/Check

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標

活動指標(単位)		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
		目標値	R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	都市計画道路の整備延長(m) ①鷺津駅谷上線、②表鷺津漁港線、 ③大倉戸茶屋松線、④浜松湖西豊橋道路	目標値		42,696 (133)	42,776 (80)	42,846 (70)	42,941 (95)	42,941 (①～④)			
		実績値	42,563 (82)								
KPI②	整備延長(m) ③大倉戸茶屋松線 L=1663m 【事業累計:0m】	目標値		0	0	0	0	-			
		実績値	0								
KPI③	整備延長(m) ④浜松湖西豊橋道路 L=5,950m 【事業累計:0m】	目標値		0	0	0	0	-			
		実績値	0								
KPI④	<参考>重点施策 No.47 整備延長(m) ①鷺津駅谷上線 L=430m 【事業累計:430m】	目標値		215 (133)	295 (80)	365 (70)	430 (65)	-			
		実績値	82 (82)								
KPI⑤	<参考>重点施策 No.47 整備延長(m) ②表鷺津漁港線 L=160m 【事業累計:30m】	目標値		0	0	0	30 (30)	-			
		実績値	0								
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標

成果指標(単位)		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価		
		目標値	R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	
KGI①	道路の整備状況についての満足度 【市民意識調査】(%) ※No.47,48を一体としてKGI進捗管理	目標値		48.0	50.0	52.0	55.0	55.0			
		実績値	46.7								
KGI②		目標値									
		実績値									

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	市の主要となる幹線を整備することは非常に重要である。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	橋梁整備に向け事業の推進を実施するため、関係機関との協定を結び整備を行う。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	関係機関との調整により事業が推進される。	(都)大倉戸茶屋松線の浜名湖西岸土地区画整理事業による道路事業推進と未施工区間の事業化。 浜松湖西豊橋道路等の新規都市計画決定への協力。
事業費(予算)の方向性	↗拡大	橋梁整備に向け事業費の増加が見込まれる。 原材料の高騰や人件費等の上昇により整備費用等が増加	(都)大倉戸茶屋松線はJR東海等関係機関協議により実施事業費が精査される。適正整備手法の検討。 浜松湖西豊橋道路等の関連業務の実施。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
406	組合土地区画整理事業事務費	66,501	32,108	30,000	161,700				
408	都市計画関係整備事業	0	558,754	0	2,034,800				
393	都市計画関係事務費	359,159	22,134	105,307					

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	くらし環境	小分類	環境	重点施策	臭気対策				
所管部署	部	環境部/産業部			課	環境課/産業振興課		重点施策 No	49	目標	暮らし
施策概要	市民生活の環境保全のため、定期的に畜産臭気を測定し、測定結果に基づき臭気対策の早期指導を行うとともに、効果的な臭気対策の検証を実施します。 畜産事業者が行う臭気対策に対する支援を行います。										
重点施策 のために行 う具体的 な事業の 内容	・市内養豚事業所での臭気測定を実施し、臭気の監視を行う ・畜産事業者へ臭気対策補助金交付及び臭気対策の情報提供										

Plan/Do/Check

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	養豚業者との面談(指導・検証)回数 【4年累計：R8～R11】(回)	目標値		1	2	3	4	4			
		実績値	1								
KPI②	協議会への補助申請事業者数(事業者/年)	目標値		16	16	16	16	-			
		実績値	10								
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価
KGI①	生活の中で悪臭を感じる人の割合 【市民意識調査】(%)	目標値		59.0	56.7	54.4	52.0	52.0		
		実績値	61.1							
KGI②		目標値								
		実績値								

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	臭気は地域課題であり、畜産業者の地域での持続的発展及び住環境の改善のためにも、コスト軽減や臭気指導など行政による対策が必要である。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	B	臭気測定について、毎年ではなく隔年で実施。 畜産事業者への臭気対策に係る補助を継続。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	臭気を感じ方には個人差あり、臭いをゼロにすることはできないが、継続的に実施する必要がある。	効果的な臭気対策の検証を行う。
事業費(予算)の方向性	→維持	目標達成に向け引き続き調査・監視を実施する必要がある。 畜産事業者への臭気対策に係る補助を継続することで、畜産臭気の抑制に繋がる。	継続的に調査を実施することにより、効果の検証を図る。 県等と協力し効果的な畜産臭気対策の実施。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
306	環境保全調査指導事業	6,273	18,567	0	18,567				
332	畜産振興対策事業	63,205	6,515	0	6,515				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	くらし環境	小分類	環境	重点施策	花と緑のまちづくり推進				
所管部署	部	環境部			課	環境課		重点施策 No	50	目標	暮らし
施策概要	花いっぱい運動推進協議会会員の作業負担を軽減し、管理する花壇数を将来に渡って維持していきます。										
重点施策 のために行 う具体的な 事業の内 容	・多年草の実験的導入（モデル団体・モデル花壇の選定と育苗施設での実証実験）										

Plan/Do/Check

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標

活動指標(単位)		実績の推移					別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	多年草を取り入れた管理花壇数(か所)	目標値	6	8	11	14	14			
		実績値	4							
KPI②		目標値								
		実績値								
KPI③		目標値								
		実績値								
KPI④		目標値								
		実績値								
KPI⑤		目標値								
		実績値								
更新時利用 KPI'		目標値								
		実績値								

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標

成果指標(単位)		実績の推移					別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価
KGI①	花いっぱい運動推進協議会会員が管理する花壇(か所)	目標値	52	52	52	52	52以上		
		実績値	52						
KGI②		目標値							
		実績値							

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	花いっぱい運動推進協議会会員の高齢化や、近年の酷暑などにより花壇の管理が大変なことから、将来に渡り花壇数を維持していくためには、行政がサポートする必要がある。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	B	各花壇で多年草を取り入れることができれば、花苗の数を減らすことができ、消耗品費が削減できる可能性がある。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	継続的に花いっぱい運動を推進するため、花壇数を将来に渡って維持する。	花いっぱい運動推進協議会会員の負担を軽減するため、多年草を取り入れていく。
事業費(予算)の方向性	→維持	花壇数を維持するためには、例年通りの予算が必要である。	今後も継続して花いっぱい運動推進協議会をサポートしていく。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
313	花と緑のまちづくり推進事業	15,626	14,293	0	12,238				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	くらし環境	小分類	循環型社会	重点施策	生ごみ削減に向けた制度未利用者への周知				
所管部署	部	環境部			課	廃棄物対策課		重点施策 No	51	目標	暮らし
施策概要	一般家庭から排出される生ごみの削減や、再資源化の促進を目的として、生ごみ処理機・堆肥化容器等を購入した人に補助金を交付するほか、制度の周知を行います。										
重点施策 のために行 う具体的 な事業の 内容	・緑花フェア、環境フェア、公共施設などでの制度の周知										

Plan/Do/Check

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	イベント等での周知ちらしの配付数(枚/年)	目標値		500	500	500	500	500			
		実績値	0								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価
KGI①	生ごみ堆肥化容器等購入費補助金の年間受付件数(件/年)	目標値		50	50	50	50	50		
		実績値	37							
KGI②		目標値								
		実績値								

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	一般廃棄物の処理は住民の生活環境を守るための自治事務であり、持続的な事業として資源循環や分別徹底によるごみ減量などが必要不可欠である。このため、施策効果を向上させる取組の一つとして生ごみを処理機で堆肥化し土に還すことは、資源循環型社会の形成や焼却不要による環境負荷軽減、また、ごみの減量化などに寄与するため有効な取組である。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	個人主体(容器購入)の取組であり、一定程度の金銭的インセンティブが必要である。静岡県内での自治体実績では、10,000円～30,000円であることから補助金額は妥当と判断する。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	△拡大	個人主導の取組であり、事業目的や取組効果を十分に理解して頂くことが重要であるため、PRが有効と考えている。	現行のPR手法(ウェブサイト・広報等)による成果向上となっていないため、各種イベント等によるPR実施を検討する。
事業費(予算)の方向性	△拡大	今後のニーズ・効果等を踏まえ、検討する余地がある。	市民の関心度・ニーズや、購入後の効果などの調査実施に向けた検討を行う。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
292	廃棄物対策事業	371,358	390,343	0	390,343				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	くらし環境	小分類	循環型社会	重点施策	中小企業等へのゼロカーボン化支援				
所管部署	部	環境部			課	環境課		重点施策 No	52	目標	元気
施策概要	中小企業が行う省エネルギー診断及び省エネ・再エネ設備の導入支援を行います。 市内金融機関と連携し、セミナーの開催や補助制度の検討及び周知などの、中小企業等のゼロカーボン化を促進する取り組みを展開します。										
重点施策 のために 行う 具体的な 事業の 内容	・住宅や事業所への省エネ・再エネ設備や家電の導入支援として購入費の一部に補助をし、脱炭素化の促進をする。										

Plan/Do/Check

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	脱炭素化促進事業利子補給、温室効果ガス算定ツール購入、サステナビリティ経営促進事業の補助件数(件/年)	目標値		65	76	88	100	100			
		実績値	53								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価		
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	
KGI①	CO2排出量【環境省推計値による独自算出】(千t-CO2/年)	目標値		772	761	749	737	737			
		実績値	-								
KGI②		目標値									
		実績値									

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	2050年カーボンニュートラル達成に向け、実行計画に基づき市民や事業者の脱炭素化に向けた取り組みを行政がけん引し、地域のGXを加速させるため。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	需要は一定以上あるため、また年々事業費が削減されており、これ以上削減の余地はない。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	△拡大	市民の行動変容を促すためにも、切っ掛けとなるチャンネルを広く取っておきたい。	ゼロカーボンシティの実現に向け、補助金の拡充並びに事業の推進を図る。
事業費(予算)の方向性	△拡大	脱炭素に資する行動変容を促すためにも、事業の拡大を図りたい。	ゼロカーボンシティの実現に向け、補助金の拡充並びに事業の推進を図る。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
310	脱炭素推進事業	16,852	30,704	0	46,000				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	くらし環境	小分類	循環型社会	重点施策	市民(家庭)のゼロカーボン化支援				
所管部署	部	環境部			課	環境課		重点施策 No	53	目標	元気
施策概要	住宅への省エネ・再エネ設備の導入支援を行い、市民のゼロカーボン化を推進します。環境学習会、環境教育イベントを開催し、地球温暖化に対する理解の向上と、危機意識を醸成し、地球温暖化対策の取り組みを促進します。										
重点施策 のために行 う具体的 な事業の 内容	・住宅や事業所への省エネ・再エネ設備や家電の導入支援として購入費の一部に補助をし、脱炭素化の促進をする。										

Plan/Do/Check

KPI活動指標

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

活動指標(単位)		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11			達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	家庭用蓄電池、コジェネレーション、低公害車に対する補助件数【補助制度開始からの累計値】(件)	目標値		1,660	1,770	1,880	2,000	2,000			
		実績値	1,546								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

KGⅠ成果指標

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

成果指標(単位)		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11			達成度	達成状況評価
KGⅠ①	CO2排出量【環境省推計値による独自算出】(千t-CO2/年)	目標値	772	761	749	737	737			
		実績値	-							
KGⅠ②		目標値								
		実績値								

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	2050年カーボンニュートラル達成に向け、実行計画に基づき市民や事業者の脱炭素化に向けた取り組みを行政がけん引し、地域のGXを加速させるため。
<有効性>	成果(KGⅠ)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGⅠに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	需要は一定以上あるため、また年々事業費が削減されており、これ以上削減の余地はない。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	△拡大	市民の行動変容を促すためにも、切っ掛けとなるチャンネルを広く取っておきたい。	ゼロカーボンシティの実現に向け、補助金の拡充並びに事業の推進を図る。
事業費(予算)の方向性	△拡大	脱炭素に資する行動変容を促すためにも、事業の拡大を図りたい。	ゼロカーボンシティの実現に向け、補助金の拡充並びに事業の推進を図る。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
310	脱炭素推進事業	16,852	30,704	0	46,000				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	くらし環境	小分類	循環型社会	重点施策	行政におけるゼロカーボン化の推進				
所管部署	部	環境部			課	環境課		重点施策 No	54	目標	元気
施策概要	公共施設への省エネ・再エネ設備の導入等により、CO2 排出量削減・メンテナンスコスト削減を実現しつつ、「電気料金・メンテナンスコストの削減」等を情報発信することで、市民・事業者の地球温暖化対策の取り組みを促進します。										
重点施策 のために 行う 具体的な 事業の 内容	・省エネ・再エネ設備の導入を進め、脱炭素化の促進をする。										

Plan/Do/Check

KPI活動指標

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

活動指標(単位)		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11			達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	公共施設へのLED導入率(%)	目標値	30.0	47.0	63.0	80.0	80.0				
		実績値	12.0								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標

成果指標(単位)		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11			達成度	達成状況評価
KGI①	事業所としての公共施設によるCO2 排出削減割合【環境省推計値による独自算出】(2013年比: %)	目標値	100.0	83.0	67.0	50.0	2013年比 50.0			
		実績値	104.0							
KGI②		目標値								
		実績値								

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	市が自らの施設に対して行う事業である。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	プロポーザル方式により事業者を選定し、現地調査に基づき必要な機器・施工内容を精査した上で契約するため、事業費は適正であり削減の余地はない。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む		令和8年度からの新規事業のため評価対象外	
事業費(予算)の方向性	△拡大		令和8年度の事業費は0円、令和9年度から事業費が発生する見込み。債務負担行為設定済み。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
310	脱炭素推進事業	16,852	30,704	0	46,000				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	くらし環境	小分類	消防・救急	重点施策	救急車の適正利用				
所管部署	部	消防本部			課	警防課		重点施策 No	55	目標	暮らし
施策概要	救急車の適正利用に関して、救急相談窓口（＃7119）など、救急車以外の医療アクセス手段という選択肢の幅を広報活動により広げることで、救急搬送人員に対する傷病程度「軽症者」の割合を減少させます。										
重点施策 のために行 う具体的な 事業の 内容	救急安心電話相談窓口、こども救急相談等に関するリーフレットを作成し、救急の日の9月9日を含む救急医療週間と、年間を通じ出前講座(約30回)及び救命講習等(約50回)にて市民に周知する。										

Plan/Do/Check

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標（単位）		R7（参考）	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	救急車の適正利用に関する広報活動実施人数【4年累計：R8～R11】（人）	目標値		2,000 （年2,000）	4,000 （年2,000）	6,000 （年2,000）	8,000 （年2,000）	8,000			
		実績値	1,551								
KPI②	救急車の適正利用に関する広報活動実施回数【出前講座、救急講習、各種イベント時等】（回/年）	目標値		150	150	150	150	－			
		実績値	121								
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価		
	成果指標（単位）		R7（参考）	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	
KGI①	救急搬送人員に対する軽症者の割合（％） ※同全国割合46.8％（R7消防白書による）	目標値		45.0以下	45.0以下	45.0以下	45.0以下	45.0以下			
		実績値	44.1								
KGI②		目標値									
		実績値									

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性（行政が行う必要があるか）	A	行政として限られた救急資源（救急車）を適切に提供するため、救急搬送人員の軽症者の割合を減少させる必要がある。そのため、各関係部署と協力し「地域防災訓練」時の出前講座や「救急の日」街頭広報時に＃7119について広報を実施している。
<有効性>	成果（KGI）に対する活動（KPI）の妥当性（KPIがKGIに効いているか）		
<効率性>	事業費削減の余地	A	事業費については、適正に執行している。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	KPIの実績値を延ばしていくために事業継続が必要である。	出前講座や救命講習の広報を増加させていく。
事業費（予算）の方向性	→維持	適正に執行している。	継続して実施。

【参考】事業費の推移（事業2単位）		R7	R8		R9		R10	R11	（千円）
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
464	救急業務推進事業	2,573	4,154	0	4,154				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	くらし環境	小分類	消防・救急	重点施策	住宅用火災警報器設置維持管理に関する広報				
所管部署	部	消防本部			課	予防課		重点施策 No	56	目標	暮らし
施策概要	市内在住者への多様な広報ツールの活用、各種団体を通じた広報、年2回の全国火災予防運動に合わせた街頭広報など、あらゆる手段で市民に重要さをアピールすることで、適切な維持設置を啓発します。										
重点施策 のために行 う具体的 な事業の 内容	・年2回の火災予防運動、出前講座(令和6年度66回実施)などの機会を捉えた啓発活動にて市民に周知する。										

Plan/Do/Check

KPI活動指標

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

活動指標(単位)		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
			R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	市民への啓発人数(人/年)	目標値		6,500	7,000	7,500	8,000	8,000			
		実績値	6,000								
KPI②		目標値									
		実績値									
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標

成果指標(単位)		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
			R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価
KGI①	住宅用火災警報器の設置率【湖西市 集計】(%)	目標値		85.0	90.0	95.0	100	100		
		実績値	82.7							
KGI②		目標値								
		実績値								

Check

項目	評価	評価コメント
<必要性> 行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	住宅用火災警報器を設置することで火災発生時の死亡リスクや損害の拡大のリスクが大幅に減少する。火災予防は、消防の責務であるため、今後も消防本部が住宅用火災警報器設置促進広報を実施していく必要があると評価する。
<有効性> 成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性> 事業費削減の余地	A	大型イベントでの広報活動や出前講座(火災予防教室)における広報活動が、市民の火災予防意識向上につながる絶好の機会となっている。啓発品の配布等を行うことは、対象者の家族等の火災予防意識の向上につながるため火災予防啓発事業費は適正であると評価する。

Action

	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	△拡大	令和7年度、大型イベント内での火災予防啓発活動を増加させるとともに、イベント内での大型モニターを使用しての火災予防啓発動画の放映を実施した。今後も様々な方法で火災予防啓発活動を行い、事業を拡大し、湖西市内の住宅用火災警報器の設置率向上に繋げる。	湖西消防オリジナルデザインの啓発品を作成し市民の火災予防意識がより向上するような啓発活動を実施していく予定である。
事業費(予算)の方向性	△拡大	市民の火災予防意識を向上させ住宅用火災警報器の設置率向上に繋げるため、啓発対象者数を今後増加していく予定である。啓発対象者数を増加させるため、事業費が増加する見込みであると判定する。	予算内での啓発品の購入数の確保が物価高騰の影響から困難となる可能性があるため、オリジナル缶バッジを予防課で作成する等、予算内での効果的な啓発品作成も検討していく。

【参考】事業費の推移(事業2単位)

		R7	R8		R9		R10	R11
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画			
450	火災予防啓発事業費	820	857	0	1,110			

(千円)

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	行政経営	小分類	DX推進	重点施策	情報化(DX)施策の総合的な企画、調整及び推進					
所管部署	部	企画部			課	DX推進課			重点施策 No	57	目標	元気
施策概要	行政手続の利便性向上に向け、電子申請の対象拡大、制度・条例・要綱の点検によるアナログ制約の見直しや事務負担軽減を図るための外部サービスの導入、職員への操作研修の定期開催等を一体的に実施します。											
重点施策 のために行 う具体的な 事業の内 容	・DX推進本部会議の開催 ・各課DXヒアリング実施 ・アドバイザー活用等による改善提案											

Plan/Do/Check

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標

活動指標(単位)		実績の推移					別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	DX推進本部会議の開催【回数】(回/年)	目標値	3以上	3以上	3以上	3以上	3以上			
		実績値	2							
KPI②	DX推進本部会議の開催【参加率】(%) ※実効性のある意思決定の確保のため、参加率90%の維持を目標値とする	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90以上			
		実績値	96.4							
KPI③	各課DXヒアリング実施率(%)	目標値	100	100	100	100	100			
		実績値	100							
KPI④	アドバイザー活用による改善提案数(件/年) ※アドバイザーの継続的な活用と改善提案の創出のため、年間5件以上を目標値とする	目標値	5以上	5以上	5以上	5以上	5以上			
		実績値	8							
KPI⑤		目標値								
		実績値								
更新時利用 KPI'		目標値								
		実績値								

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標

成果指標(単位)		実績の推移					別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価	
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価
KGI①	市民向けサービスのデジタル化における市民の満足度【市民意識調査】(%)	目標値	25.0以上	25.0以上	25.0以上	25.0以上	25.0以上		
		実績値	12.1						
KGI②		目標値							
		実績値							

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	全庁的なDX施策の企画・調整や進捗管理を通じて、市民サービスの向上と行政運営の効率化を図るため、行政が主体となって実施する必要がある。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	事業費は適正である。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	行政課題や市民ニーズの変化に対応し、業務改善と利便性向上を図るため継続的に必要な事業である。	第2次湖西市DX推進計画の策定。
事業費(予算)の方向性	→維持	DX推進に向けた業務改善やデジタル化の検討において、アドバイザーからの専門的な助言は有効である。	アドバイザーへの相談内容を事前に整理・集約し、効率的な活用を行う。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
44	電子市役所推進費	463,190	461,409	178,665	395,964				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	行政経営	小分類	DX推進	重点施策	職員の情報システム利用技術向上、生成AI・RPA等を活用した業務効率化推進				
所管部署	部	企画部			課	DX推進課		重点施策 No	58	目標	元気
施策概要	庁内の業務効率化と人材不足対策の一環として、表計算ソフト・生成AI・RPA等の利活用環境を整備するとともに、操作マニュアルの整備、階層別研修、活用事例の庁内展開、活用実績の可視化とフィードバックによる改善、倫理・リスク管理の教育を包括的に実施します。										
重点施策 のために行 う具体的な 事業の内 容	・生成AI活用研修実施 ・活用事例の庁内共有										

Plan/Do/Check

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
	活動指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	年間の生成AI活用研修実施回数(回/年)	目標値		3以上	3以上	3以上	3以上	3以上			
		実績値	1								
KPI②	活用事例の庁内共有件数【改善提案含む】(件/年)	目標値		5以上	5以上	5以上	5以上	5以上			
		実績値	3								
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価		
	成果指標(単位)		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	
KGI①	庁内での生成AI活用率【湖西市集計】(%)	目標値		70.0	75.0	80.0	84.0	84.0以上			
		実績値	57.0								
KGI②		目標値									
		実績値									

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	庁内の業務効率化と人材不足対策の一環として事業継続が必要である。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	事業費は適正である。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	△拡大	AI技術は日々進化しており、庁内の業務効率化と人材不足対策をさらに推進するために新たな技術導入は有効な手段である。	AIエージェント利用検討。
事業費(予算)の方向性	△拡大	新たな技術導入に伴い、導入経費及び運用経費が発生する。	AIエージェントの導入、運用経費の増加。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
44	電子市役所推進費	463,190	461,409	178,665	395,964				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	行政経営	小分類	行政経営	重点施策	継続的で安定的な財政基盤の確立				
所管部署	部	総務部			課	財政課		重点施策 No	59	目標	元気
施策概要	財政調整基金に頼らない予算編成を進めるため、限りある財源を有効かつ効率的に活用するために、施策の優先順位を明確にし、その優先順位に基づいて予算を選択・集中して配分します。										
重点施策 のために 行う 具体的な 事業の 内容	・中期財政計画の策定										

Plan/Do/Check

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標

活動指標(単位)		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
			R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	財政調整基金の確保【財政調整基金 残高÷標準財政規模】(%)	目標値		20.0	20.0	20.0	20.0	20.0以上			
		実績値	16.9								
KPI②	財政調整基金の確保【積立等】(億円 /年)	目標値		9.4	5.0	5.0	5.0	-			
		実績値	10.0								
KPI③		目標値									
		実績値									
KPI④		目標値									
		実績値									
KPI⑤		目標値									
		実績値									
更新時利用 KPI'		目標値									
		実績値									

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標

成果指標(単位)		実績の推移						別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価		
			R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	
KGI①	財政調整基金の確保【財政調整基金 残高÷標準財政規模】(%)	目標値		20.0	20.0	20.0	20.0	20.0以上			
		実績値	16.9								
KGI②		目標値									
		実績値									

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	年度間の財源の不均衡を調整するため、また、緊急時の臨時支出のために積み立てる基金のため。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	事業費削減の余地なし。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	基金残高確保のため、必要に応じて積立てを実施する。	収支状況を確認し、積立可能額の把握に努める。
事業費(予算)の方向性			

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				

※繰越含む

総合計画 第Ⅱ期実践計画		大分類	行政経営	小分類	行政経営	重点施策	公共施設再配置個別計画の進捗管理				
所管部署	部	企画部			課	資産経営課		重点施策 No	60	目標	元気
施策概要	2016年度から2045年度までの30年間で公共施設の延床面積を20%削減することを目標に計画の見直しと進捗管理を行い、公共施設の再配置を推進します。										
重点施策 のために行 う具体的 な事業の 内容	・個別計画の進捗状況を確認する。										

Plan/Do/Check

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KPI活動指標

活動指標(単位)		実績の推移					別冊設定 目標値 R11	活動指標の達成状況評価		
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	今後の方針
KPI①	縮減の進捗状況の確認・調査(回/年)	目標値	2	2	2	2	2			
		実績値	1							
KPI②		目標値								
		実績値								
KPI③		目標値								
		実績値								
KPI④		目標値								
		実績値								
KPI⑤		目標値								
		実績値								
更新時利用 KPI'		目標値								
		実績値								

↓ 第6次総合計画 第Ⅱ期実践計画 別冊シート掲載

KGI成果指標

成果指標(単位)		実績の推移					別冊設定 目標値 R11	成果指標の達成状況評価		
		R7(参考)	R8	R9	R10	R11		達成度	達成状況評価	
KGI①	公共施設総延べ床面積の縮減率(%) ※R8.3月末の再配置個別計画の改訂において、中期財政計画に合わせて目標値を修正したことにより、R11時点の目標値に差異が生じている。	目標値	4.3	3.7	3.9	4.3	5.2			
		実績値	3.9							
KGI②		目標値								
		実績値								

Check	項目	評価	評価コメント
<必要性>	行政関与の妥当性(行政が行う必要があるか)	A	人口規模に見合った公共施設の適正配置には、行政としての公共施設マネジメントの推進は欠かせない。
<有効性>	成果(KGI)に対する活動(KPI)の妥当性(KPIがKGIに効いているか)		
<効率性>	事業費削減の余地	A	計画の進捗管理と再配置(統廃合)の掘り起こしなどの内部調整が主のため、事業費を削減する余地はない。

Action	判定	判定コメント	改善点や今後の予定
事業の方向性 ※予算額以外のリソースやウェイトを含む	→維持	縮減の進捗状況の確認・調査を行いつつ、必要に応じてヒアリングを実施するなど、計画の進捗管理に努める。	次回の計画改訂に向け、方向性や内容の具体的な精査・検討を進める。
事業費(予算)の方向性	→維持	計画の進捗管理と再配置(統廃合)の掘り起こしなどの内部調整が主のため、事業費を削減する余地はない。	現在の予算規模を維持する。

【参考】事業費の推移(事業2単位)		R7	R8		R9		R10	R11	(千円)
事業2	事業名	決算	当初	繰越	計画				
714	公共施設マネジメント推進事業	193,751	226,830	0	226,830				

※繰越含む